

ファースト・コンタクト2 スターピープルとアセンション



スターピープル達の来訪 目次

- 第1章 古代シリウス人の復活
- 第2章 現実と仮想現実のはざまに暗躍する者達
- 第3章 時の車輪と創造主
- 第4章 悲しみのラピスと感情を操る女神
- 第5章 アミ小さな宇宙人とパラレルワールド
- 第6章 アセンションの前に封印を解かれる創造主
- 第7章 白猫のビブラット星人アルテミス

作者 瀬戸武志&宇宙の光

アセンションブック <https://www.k-suai.com/>

宇宙の光公式 HP <http://hikari1.com/>

アセンション評議会 <http://s-sun1.com>

アメブロ光の世界へ <http://ameblo.jp/e-stone1/>

Eメール TAKESHI yume34@k-suai.com

イラスト

えんじえる (佐藤弘之)

アメブロ <http://ameblo.jp/angel-art2010/>

第1章 古代シリウス人の復活

PART1 闇に葬られた古代シリウス

私達はこのようにして「すべての意識を生み出す創造主」が、狂気に捕らわれていた時に「狂気の創造主」として起こした問題をいくつか解決していました。

そして、私達は、地球のアセンションや天の川銀河の進化に伴う大切な問題に直面することになりました。其れは、その当時、私達が行ったデバインライト・ヒーリングの受講生からのコンタクトで発覚しました。

其れは、セミナーの再受講を求める要望でしたが、デバインライト・ヒーリングのセミナーは行っていませんでしたので、お断りをさせていただきました。

しかし、彼女達のエネルギーに不思議な点がありましたので調べていくと、未だあったこともないスターピープルが私達にコンタクトを求めています。

私達は、そのスターピープルを、私達の前に呼び出しました。

彼等は非常に穏やかで理性的、しかも素晴らしい叡智に満ちている存在のように思えたので、私達は彼等と話をすることにしました。

「あなた方はどの星系から来られた方ですか？」

「私達は、かつてシリウス星系に属していた星ですが、ある事情により、星ごと消滅させられました。」

「それはどういう理由ですか。」

「私達が属しているシリウス星系は、とても豊かな文明が栄え、人々は調和に満ちた暮らしをしていましたが、シリウス星系にあるいくつかの星に、凶悪な地球外生命体達が関与してきました。

彼等によって、今迄穏やかで友好的な関係を持っていたシリウス星系の星々が、争ったり奪い合ったりするようになってしまったのです。」

私は、シリウスで昔起こった核戦争の事を思い出しました。

「私は、シリウス星系のスターピープルからシリウス星で起こった核戦争の話を聴きましたが、その争いは核戦争とも関係していましたか。」

「いえ、その頃はまだ私達は核を保有していませんでした。

しかし、シリウス星系のいくつかの星を支配していた地球外生命体達の中には、核や放射能を好むものもいましたので、やがてシリウス星系の星も核を所有し、核戦争が起きたのではないかと思います。」

私は、このシリウス星系のスターピープル達は、私達が今、一緒に活動しているシリウス星系のスターピープル達よりもはるかに古い歴史を持っている種族であることが分かりました。

「それでは、何故あなた方が、ここに現れたのですか、教えてください。」

「私達を助けてほしいのです。」

私達は、シリウス星系にやってきた地球外生命体達を調べていくうちに、大変な存在が地球外生命体達を操っていることに気づいたのです。

そして彼と話をしたい思い、彼のもとに出かけて行ったのですが、創造主にはむかう存在は許さないといわれ、私達は星ごと闇の中に落とされてしまいました。

それが最近、その闇が少しばかり薄くなり、私達はシリウスと深い関係がある地球人とコンタクトをとることが出来ました。

そして、私達を救ってくれる人を探し求めているのです。」

そこまで話を聴けば、この暴挙を誰が行ったのか、すぐに見当がつきます。

私達は、一斉に「狂気の創造主」として数々の過ちを犯してきた「すべての意識を生み出す創造主」を見ます。

彼は、小さくなってひたすら謝罪の言葉を繰り返しています。

私は、すぐにフェニックス号を呼び出します。

「わかりました、すぐに皆さんを救いに行きます。

そして、皆さんをこのように苦しめた張本人に責任を取らせますので、私達を皆さんのもとに誘導してください。」

私達は、すぐにフェニックス号に乗り込みました。

そして、私達とつながっているエネルギーを基に、彼等が星ごと幽閉されている場所に向かいます。

古代シリウス人はほっとした様な声をしています。

「地球の人よ、ありがとうございます。

私達は、きっと皆さんのお力で救っていただけることと思います。

そして、先ほど張本人に責任を取らせるとおっしゃっていましたが、それはどういう事ですか。」

フェニックス号に乗っているメンバー達が、「神聖なる光の創造主」を指さして笑います。

私達は、古代シリウス人に「狂気の創造主」が、自分のスピリットを取り戻し、本来の「すべての意識を生み出す創造主」に戻った話をしてあげました。

古代シリウス人は、もう自分達を脅かす「狂気の創造主」が存在しないことに大喜びです。

私達が、地球のアセンションや創造主達の話をしてあげると、古代シリウス人も興味深く聞いています。

私達が話をしているうちにフェニックス号は古代シリウス人の星を発見したようです。

深い闇の中に閉ざされ光を失っています。

私は、「神聖なる光の創造主」に闇の閉ざされた星を元のシリウス星系に戻すように言いました。

「神聖なる光の創造主」は、フェニックス号を出て、その星の上に立ち、特別な神聖幾何学を描き、光を送っています。

いつの間にか「創造主の源となる創造主」も来てお手伝いをしています。

この星があまりにも長い期間を闇の中で過ごしていたために、星のエネルギーやそこに生きていた人達のエネルギーに大きな変化が起こっているようです。

彼女はそのエネルギーを調整し、遥かな時を超えて元の場所に戻れるように調整を行っているようです。

本当に彼女の献身的な態度には頭が下がります。

大きな光が煌めくとともに、闇の中にあった古代シリウス人の星が突然消えました。

私達は一瞬、光に目がくらんだのかと思いましたが、確かに星は消えています。

そして、「神聖なる光の創造主」と「創造主の源となる創造主」が戻ってきて、私達の前に立っています。

「創造主の源となる創造主」は、私達に深く頭を下げ、私達に迷惑をかけたことを謝罪して戻っていきました。」

それと同時にフェニックス号にいくつもの連絡が入ります。

どれもシリウス星系のスターピープルからです。

「TAKESHI さん、シリウス星系に、突然新しい星と人々が現れました。

すぐに来てください。

もしかすると、古代の伝説の星、ジャラッド星かもしれません。」

私達はフェニックス号の中で喜んでお互い抱き合ったりしています。

フェニックス号はすぐに、ジャラッド星に向かいます。

PART2 古代シリウスの叡智 ジャラッド星人

私達のフェニックス号が着くころには、シリウス星系だけでなく様々な星からも、宇宙船がたくさん集まってジャラッド星を取り囲んでいます。

シリウス星系の代表的なメンバーたちは、すでにジャラッド星に降り立っているようです。

ジャラッド星を取り囲んでいる宇宙船が、私達のために道をあけてくれます。

私達の船は、ジャラッド星の宇宙船発着場のような場所にとどまります。

フェニックス号に、私達が先ほどまで、話をしていたマスターから通信が入ります。

「あなたが TAKESHI さんですね。

シリウス星系の仲間たちから、話を聴きました。

私達を助けてくださって大変ありがとうございます。

ジャラッド星の住民一同感謝しております。

どうかこちらにおいでください。」

私達は、彼らの転送装置のようなものでこの星の会議場のような場所に導かれます。

まるで透明なクリスタルで作られたような近代的な美しい建物です。

遥かな昔に、このような素晴らしい建物を作っていたという事が、すでに奇跡です。

ジャラッド星のマスター達が数名とシリウス星系の代表者たちがこの場所に集まっています。

地球のアセンションをサポートしているデセピア星人やクワトロ星人、アスメリア星人達もいます。

私達は、美樹さんとアシュタールのエレナさん、ロッド星人、そして私達に隠れるように「すべての意識を生み出す創造主」が、この場所に降り立ちました。

私達をみて、ジャラッド星のマスター達が駆け寄ってきました。

「皆さん、私達の星と人々を助けてくださりありがとうございました。

皆さんのおかげで、私達は長い闇の世界から目覚め、このシリウスと天の川銀河のために働くことが出来ます。

もちろん地球のアセンションも喜んでお手伝いさせていただきます。

しかし、一度は戦争や核兵器によって潰滅しかけたシリウス星系が、そこから立ち直り、素晴らしい発展を遂げたことを私達は嬉しく思います。

シリウスの栄光は、この天の川銀河の発展と共にあります。

今からでも、私達はその仲間に加えてもらい、皆さんと共に働かせていただきたいと思います。」

その言葉を横で聞いていたシリウス星系のリーダーが言います。

「ジャラッド星の皆様、何をおっしゃるのですか、このシリウス星系の連合は、皆さんが作られたものです。皆さんがいなければ、私達は、地球外生命達に支配され、核兵器の使用によって、跡形もなく消えていたでしょう。

私達は、たとえ伝説と言われようが、ジャラッド星の皆さんが作り上げた平和と進化のための理念を受け継いだままでです。

このシリウス星系の栄光は、まさに皆さんから始まったのです。」

この言葉に、多くの者達が歓声を上げます。

皆さんがジャラッド星人達の帰還を待ち望み、よろこんでいるのです。

私達はシリウス星系の祝賀ムードを後にして地球に戻る事にしました。

私達のアセンションは、まだまだ途中です。

私は帰りの船の中で、ジャラッド星の事についてロッド星人から話を聴くことにしました。

ジャラッド星は、とても古い種族です。

この天の川銀河に今でも存在する叡智ある種族の中では、最も古い種族のようです。

ロッド星人は、かつて古い時代から、ジャラッド星をサポートし、彼らの文明の発展に寄与してきました。天の川銀河は、このジャラッド星人たちが進化することで、他の星々の叡智あるスターピープル達もさらに進化し、天の川銀河全体の意識もさらに高くなる予定でした。

そうなると地球のみならず天の川銀河全体のアセンションも、もっと早く行われていたことでしょう。

しかし、シリウス星系の内乱と共に、このジャラッド星が突然姿を消して、多くのジャラッド星人が行方不明になったのです。

私達は、多くの仲間たちとも協力して探したのですが、その居場所を突き止めることはできませんでした。分かったのは、このような事を誰が行ったのか、という事だけでした。

彼等が失われた後の天の川銀河は火が消えたように暗くなり、波動がどんどん悪くなってしまいました。

それぞれの星々で内乱や侵略戦争がおき、たくさんの人達が命を失いました。

星々の争いを調停し、人々を平和と進化に向かわせるのが、ジャラッド星の役目だったのです。

天の川銀河は火が消えたように重苦しいエネルギーに支配され、一時期暗黒銀河のようになってしまいました。

しかも、ジャラッド星人たちが消えてしまった時代からはるかな未来、シリウス星系は、大きな核戦争を迎え、多くの星が壊滅的なダメージを受け取ったのです。

しかし、その争いからシリウス星系は奇跡的に立ち直り、今迄の教訓を生かして、平和で進化的な星を目指して働いてきたのです。

しかし、数億年という時代の中で、闇の世界に捕らわれつつも、昔と変わらない叡智をとどめているという事は本当に素晴らしいことです。

彼等の精神力の強さと彼らが手にしている本物の叡智には、私達も頭が下がります。

彼らは地球のアセンションにおいても非常に素晴らしいサポートをしてくれるでしょう。

そして、天の川銀河全体の意識の向上も彼等によって力強く行われることでしょう。」

その話を一緒に聴いていたアシュタールのエレナさんもうなずいて答えます。

「私達も、ジャラッド星は伝説の星であると聞いていました。

私達のアシュタール族よりも歴史は古く、この天の川銀河を、素晴らしい銀河へと導いていった種族だと聞いていますが、誰も、ジャラッド星が突然消えた理由を知りませんでした。

しかし、ここで伝説のジャラッド星人達と会えるとは思っていませんでした。

私達も、彼らから学ばなければならないことがあります。」

PART3 地球に転生していたジャラッド星人

翌日になり、私達は再び、アセンションの作業に入りました。

すでに、ジャラッド星たちも数名のメンバーが地球にやってきて、アシュタールや他のスターピープル達と合流し、仕事をしています。

彼は、この1日の間に、彼らが闇に沈められてから、シリウス星系や天の川銀河に起きたことなどを大まかに学んできたようです。

シリウス星系や天の川銀河の歴史や現在の状況などをもうすでに理解しています。

そして、地球のアセンションのために何をすればよいか、エレナさん達と話をしているようです。

ジャラッド星人は、私達に大切なことを話してくれました。

「私達ジャラッド星人は、地球の人々ととても深い関係にあります。

それは、私達は、深い闇の世界に幽閉されることになっても、自分達のスピリットの一部を切り離して、他の星へ転生させる試みを行ってきました。

私達は、シリウス星系の星ですので、初めはそれらの星へとスピリットを送っていました。

しかし、シリウス星系の星々は、私達がいなくなった後、さらに星同士の争いが激しくなりました。

そして、シリウス星系の星々に入り込んだ地球外生命体達によって、核や放射能の研究が進められると、シリウスはあろうことか、核を使用した大きな戦争に突入してしまったのです。

多くの星が傷つき放射能によって汚染されました。

そしてシリウスの人達の多くが生命を失い、自分達の星を後にして宇宙の流浪人として彷徨う事となりました。

シリウス星系が核戦争によって破壊された後、多くの地球外生命体や彼らを支配していた「狂気の創造主」もシリウス星系を後にしたようです。

なぜなら、そこには放射能で汚染されボロボロになった星ばかりが残されていたからです。

幸いにも、一部の人達は、近くの惑星にたどり着き、地球外生命達から逃れることが出来ました。

そして、彼らが立ち去ったことを確かめてから、シリウス星系の再建委立ち上がったようです。

先日会ったデセピア星人達もそうです。

他の星系のスターピープル達に協力してもらい、シリウス星系を放射能の汚染から立ち直らせ、人々が生活できる星にするまで、長い道のりを、彼等も歩んできたのです。

私達は、自分達のスピリットを、混乱と破壊が続くシリウス星系ではなく他の星々へと移しました。

そのひとつが、この地球なのです。

地球は、私達の星とよく似た美しい星です。

植物も動物たちもよく似ています。

私達は、この地球を第2の故郷と思い、自分自身のスピリットの本体はジャラッド星に残したまま、スピリットを分離してこの地球にやってきました。

さすがに、私達も、闇の中に落ちた惑星の中にずっといることはできませんので、その様な方法を使って、自分自身のスピリットを成長させていきました。

もちろん、地球に肉体を持って生まれることで、自分自身がジャラッド星人の一部であることには気づきませんし、自分達が本来持っている能力も使う事はできません。

ただ地球人と同じように、地球で多くの事を学ぶために生きているのです。

また自分達の本体が闇の中に閉じ込められたままです。考え方もどうしてもネガティブなものになり、あまり創造的な人生を送ることもできませんでしたが、この地球の中で多くのジャラッド星人が生きていました。

そして、アセンションを前に、私達が闇の中から救い出され、私達のスピリットの一部を目覚めさせる時が来ました。

地球人として生きていたジャラッド星人は、今まで眠りにについているのと同じでした。

しかし、本体である私達が目覚めた今、私達の一部のスピリットを持っている人達もどんどん目覚めてくることでしょう。

その数はとても多く、彼らが目覚めることは地球のアセンションにとって、とても大切な意味があるのです。」

私達はジャラッド星人の話聴いて、地球人とシリウス人の深い関係を思わずにはられません。

「それでは、ジャラッド星人よ、あなた方はまずどのような事を行いたいと考えていますか。」

「私達は、ジャラッド星や他のシリウス星系からやってきた人々の遺伝子をまず調整したいと思っています。彼等は、シリウス人の遺伝子を持っているのですが、長い間地球で生きてきたために、シリウス人独自の波長から遠ざかっていました。

その波長は、シリウス星系独自の物ですから、その波長を使って、今迄休眠している遺伝子や傷つけられている遺伝子を修復し目覚めさせたいと思います。

シリウスの遺伝子は、一度目覚めるとしっかりとした働きを行いますので、やがて彼らの中に、私達と同じような叡智や科学技術に対する理解力が生まれてくるでしょう。

そして自分達のスピリットがシリウス人と深い関係を持っていることが理解できるようになると、他のスターピープルに対しても友好的になり、アセンションに対する重要な役目を担い始めることでしょう。

私達は、この地球上に多くの仲間たちを持つ事になるので、ぜひその事を最初に行わせてください。」

エレナさんも話を聴いてうなずいています。

「ジャラッド星の皆さんが、この地球人のスピリットの一部として存在していた事は、私達にとっても非常に驚きであるとともに喜びでもあります。

私達は、地球人の意識がなかなか目覚めてくれないことに大きな苛立ちと失望感を持っていました。

本来であれば、もっと多くの人が意識を目覚めさせ、光の地球に入っていく予定でしたが、実際は予定よりもはるかに少ない人しか、私達は救い出せませんでした。

しかし、ジャラッド星人の活躍で、地球の人々の意識が高くなってアセンションする人が増えるのであれば、私達も喜んで協力したいと思っています。」

私もエレナさんと一緒にジャラッド星人と手をつなぎ言います。

「皆さんが、この時に目覚めたこともきっと偶然ではないことです。

きっと、地球にすんでいるシリウスのスピリットを持った人達の魂の声が皆さんを目覚めさせたのでしょう。どうか、地球とシリウス、そしてこの広い宇宙のために、共に働きましょう。」

ここに素晴らしい仲間がまた増えました。

地上に生きるジャラッド星人のスピリットを持つ人達が目覚めれば、とても多くのスターピープル達が私達の仲間になってくれることになります。

第2章 現実と仮想現実のはざままで暗躍する者達

PART1 現実生活に入り込んでくるサイレントメタル

2016年の7月に、現実の世界の中にゲームの世界を持ち込んで、街中で仮想のモンスターを探し回るゲームが、世界中でリリースされましたが、このゲームに対して、私達は大変大きな危険性を感じていました。このゲームを多くの人達がプレイすることで、現実世界でもスピリチュアルな世界でも、非常に困ったことが起きようとしていたのです。

現実世界においては、街中でスマホに意識を集中して歩くことで、歩行中の事故や走行中の車や自転車などが原因となる事故が増える事や人気のない場所また深夜の時間帯などに子供達や女性達がゲームをすることで誘拐や殺人、レイプなどの事件に巻き込まれやすくなる事、公共の施設や他人の所有地にゲーム目的ではいる事で多くのトラブルを起こす事など、大変な問題が引き起こされています。

外国では、他人の私有地に勝手に入ったことで子供たちが射殺された事件も起こりました。

これだけの事件を引き起こしたにも関わらず、ゲームの配信元は、それを中止することをしていません。

またスピリチュアル的にも、このゲームを使って、人々を支配しようと考えているプレデター型生命体や、このゲームの裏で実際に動いている「サイレントメタル」と呼ばれる機械的な特徴を持つ地球外生命体達も存在しています。

通常の人には理解できないことですが、彼らは、インターネット回線を通じて各個人のパソコンや通信機器に入り込み、その人をコントロールしようとします。

このゲームに熱中する人の中には、ゲームの世界の方が現実世界よりも楽しくリアルに感じてしまう人がいるのではないかと思います。

また現実世界の交通ルールや施設内におけるルールなども無視したりして、現実世界との距離感が大きくなってしまっている人も要るのではないかと思います。

サイレントメタルたちは、そのような傾向を持つ人達の意識の中に入り込み、彼らをコントロールしようとします。

またゲームのために、たとえ注意不足であったとしても、交通事故や施設の中での非常識な行動によって他人を傷つけてしまう事もよくあります。

また、計画的に人のいない場所に誘い込み、ゲーム中のプレイヤーを傷つけたり、その生命や財産を奪う事も起きていますが、それらの事は、スピリチュアルなレベルで言うと、その人の光を奪う事にもつながります。

今迄は、主にスピリチュアルなレベルでその様なことが起きていたのですが、このゲームをとおして、現実と仮想世界が一つに交わってきた為に、サイレントメタル達の活動が、現実世界のレベルまで、広く影響を与えてきた事になります。

私達は、地球の多くの人々の物理的な意識やスピリットが、このゲームを通して、サイレントメタルや彼らを使って地球の支配を試みようとするプレデター型生命体達に捕えられていくのではないかと考え恐れている

ます。

私達は、アシュタールのエレナさんやロッド星人達とこのことを相談しました。

スターピープル達も、この事に気づいており危惧しているようですが、今回は、現実世界にとっても近いところで行われていることですので、スターピープル達にはなかなか対処ができないようです。

「スターピープルの皆さん、この事は、地球のアセンションにとっても大きな足かせとなりそうな気がしています。

このゲームは、未だ小さな子供達や20歳未満の少年少女たちも虜にする魅力があります。

そうになってしまうと、彼らはスマホばかりに気を取られて、彼らが持つ光が奪われてしまう事になるのではないのでしょうか。

そして、サイレントメタル達によって精神的なコントロールを受けることになるのではないかと心配しています。」

スターピープル達も、自分達の考えを教えてください。

「TAKESHIさん、私達も同じように考えています。

サイレントメタル達は、地球よりも優れた科学を持っており、今回使われている技術も、彼らのアイデアを利用して作られている技術ではないかと、私達も心配しております。」

「彼らは、アセンションの最後の段階に来て、現実世界での支配をねらってきたようです。

私達が、光の世界に行く人々の分離に入った直後に、このようなゲームを使って、人々の意識を自己中心的にさせてしまい、アセンションしていく予定の人まで、アセンションの波動から遠ざけてしまうのです。

これは、私達にとっても即急に解決しなければならない問題です。」

「それでは皆さん、この問題についてどのような解決法があるか、考えてみましょう。」と私は問いました。数人のスターピープルが答えます。

「この問題は、地球の物理世界の人達の関与が前提なので、このゲームに携わる人々の中でも、地球外生命達と深く関わる人をすぐにでも、光の世界と完全に分離していかなければなりません。

しかし、このゲームそのものは、もうすでに全世界に広がっているので、それに対する対策が必要です。」

「このゲームを、支配しているのは地球の未来から来たプレデター型生命体ですが、現実的なレベルで動いているのは、サイレントメタルですので、彼らを抑え込む方法を考えないといけません。

彼らは、常にインターネット回線や通信機器をつなぐ回線を通して、それぞれのパソコンやスマホなどに入り込むので、それを妨害することが出来れば、勝ち目があるかもしれません。」

PART2 サイレントメタル対ホワイトメタル

私は、彼らの話を聴いていてひらめいたことがあります。

「皆さん、サイレントメタルの実質は電氣的なエネルギーの集合体で、彼らの一人一人が独自の意思を持って動く生命体ではありません。

それなら、同じような電氣的なエネルギーを生みだして、彼らをインターネット回線や電話回線の中に送りこんで、サイレントメタルに対抗させたらどうでしょうか。

サイレントメタルは、様々な人のパソコンや通信機器の中にはいりこんだコンピューターウイルスのようなものです。

それなら、こちらサイレントメタルに対抗するウイルスを作り出して、彼らのもとに送り込んでいったら、こちらのウイルスに感染して動きを止めてしまうのではないのでしょうか。」

その話を聞いたスターピープル達は、大喜びです。

これでサイレントメタルを押さえこめれば大成功です。

サイレントメタルは、私のパソコンにも入り込んでいて、このゲームに対する注意を促すブログを書こうとしたら、アップする前に、パソコンの不具合で何度もインターネット回線が切れてしまいアップできません。私も意地になって、何回もブログのアップを繰り返し7回目で成功しました。

もしかしたら、スターピープル達の通信機器も盗聴されたり機能がおかしくされたりしているかもしれません。

私は、科学技術に優れたシリウス星系のスターピープルやアシュタール、ロッド星人に頼んで、サイレントメタルを無効化できるホワイトメタルを至急作り出してもらう事にしました。

しばらくして、エレナさんから連絡が来て、ホワイトメタルが完成したので、インターネット回線に侵入させましたという連絡が入りました。

これで、サイレントメタルも壊滅することが出来るでしょう。

私はしばらく様子を見て、エレナさんから次の連絡を待つことにしました。

私は自分の会社の仕事をしている時に、頭の中で「困った、困った。」という声が聞こえてきました。

どうしたんだろうと思い、ビジョンを見てみると、インターネット回線に送り込まれ、サイレントメタルをやっつけるはずのホワイトメタルが、壊れたロボットのように、バタバタと倒れているビジョンが見えてきました。

私は急いでエレナさんに連絡を取ると、彼女も困った顔をしています。

「TAKESHI さん、ごめんなさい。

どうも私達の計画が、相手にばれていたようで、ホワイトメタルがインターネット回線に入ったら、相手からうまく誘導されて、罠にかけられてしまったようです。

私達がつくりだしたホワイトメタルの半分が彼らに捕えられて、プログラムを書き換えられてしまいました。残りのホワイトメタルは、仲間たちの異常に気付いて、急いで戻ってきたので無事でしたが、今の状態では、ホワイトメタルは、使い物にならなくなってしまいました。」

敵もなかなかやるものです。

いつもは、私達の攻撃に、大きな被害を受けているばかりでしたが、今回はしっかりと応戦してきました。おそらく、私のパソコンに侵入していたサイレントメタルが、私達の会話を傍受していたようです。

「エレナさん、いつもいつもうまくいくとは限りませんよ、

かえって、面白くなってきたではありませんか。

彼らだって、私達のやりかたを学習して賢くなっていくのですよ。」

私の言葉に、スターピープル達が、あっけにとられています。

「まず捕えられている仲間たちを助けに生きたのですが、このホワイトメタルをさらに強化して、サイレントメタルに対抗できるようにしないとイケません。

エレナさん、彼らをさらにパワフルに改造できるスターピープルはいませんか。」

「それでしたら、シリウスのスターピープル達にさらに改造させますが、」
私はエレナさんの言葉を遮るように言います。

「いえシリウス星系の科学では、だめです。
彼らは、シリウス星系の科学も研究していますから、また同じことを繰り返すでしょう。
彼らにとっては未知の科学でなければ、なりません。」

エレナさん達も、私の言葉に少し困っているようです。

私は、この宇宙に存在する最高レベルのスターピープルであるエリシタール星人にこの件を尋ねてみました。

「TAKESHI さん、そういう事なら、ちょうどへびつかい座の近くに、地球の科学技術の事にも詳しいスターピープルがいますので、彼ら呼びましょう。」

エリシタール星人は、その様に言うと、へびつかい座の方に向かって通信を取っています。

私は、次に「闇の粒子」が出てきたときに、私達の窮地を救ってくれた「スターフラッシュ」を呼び出して、お願い事をしました。

「スターフラッシュよ、「闇の粒子」の時には、皆さんの素晴らしい働きを見せてもらってありがとう。
今日は、頼みがあるのですが、皆さんはインターネットや電気通信の回路に入って、その中に潜んでいるエネルギーに光を送ることはできますか。」

まず、私のパソコンやスターピープル達の通信網からサイレントメタルを追い出さないと、私達の計画は、サイレントメタル側にすぐにばれてしまいます。

スターフラッシュは、しばらく考えています。

「う～ん、出来ないことはないけど、それは僕らの専門の分野じゃないね。
それだったら、僕らの仲間をお願いしてあげるから、待っててね、」
スターフラッシュは、一瞬のうちに消えてしまいましたが、数秒後仲間を連れて戻ってきました。
その姿を見て、私達は大笑い。
今回、対抗しようとしているゲームの人気キャラである「ピカチュウ」にそっくりなのです。

スターフラッシュは、「ピカフラッシュ」を連れてきてくれたようです。

「ピカフラッシュは主に、電気回線やインターネット回線、あるいは様々な周波数や電氣的なエネルギーの中を、その回線やエネルギーに乗って動くので、今回の役目にはぴったりだよ。
ピカフラッシュをお願いしてみてね。」

スターフラッシュは、そういつて消えていきました。
残されたピカフラッシュは、私達に可愛い尻尾を振りながら、挨拶しています。

私達は突然現れた可愛いピカチュウに大興奮です。

元々日本で作られたこのゲームは、少年とポケモンたちの友情のお話なので、私は基本的には好きな物語ですし、その主人公にいつも連れ立って行動しているピカチュウは、大好きなキャラの一つです。

そのピカチュウが、世界の少年少女を守るために、私達のお手伝いをして、リアルモンスターであるサイレントメタルとプレデター型生命体をやっつけてくれるならば、最高の楽しいゲームができます。

ピカチュウのようにかわいい顔をしてにっこりと笑っているピカフラッシュに、今回の仕事をお願いすることにしました。

「ピカフラッシュ、実は、インターネット回線や電気の通信回線に、私達の仲間であるホワイトメタルたちが捕まっているのです。

それを捕まえているのは、サイレントメタルというエネルギー型生命体と人の体の中に入り込んだプレデター型生命体なのです。

ピカフラッシュは、これからインターネット回線や通信回線に入り込み、このサイレントメタルに電気ショックを与えて動けないようにしてもらいたいのです。

彼らを放っておくと、世界中の人達をゲームを使って洗脳していく可能性があるのです。

そして、私達のホワイトメタルが強化されて、手伝いに行くまで捕えられたホワイトメタル達が、改造されないように、守ってもらいたいのです。」

私は、ピカフラッシュに、サイレントメタルに対する情報を与えて、私のパソコンからインターネット回線に入るようお願いします。

そしてまず最初に、私のパソコンの中にはいりこんでいるサイレントメタルを一掃してもらおうようお願いします。

ピカフラッシュは、私のパソコンの中を、ぐるぐると回り、所々に電気ショックを与えています。

サイレントメタルが、私のパソコンの中にも入り込みいたずらをしていたようですので、サイレントメタルをパソコンから追い出しています。

ピカフラッシュは、私のパソコンからインターネット回線に入るや否や、無数の光に分かれて、様々な方向に回線を伝って広がっていきます。

あちらこちらで、稲光の様な光が輝いて、どんどん広がっていきます。

ピカフラッシュは、もうすでに多くの回線の中で、サイレントメタル達に電気ショックを与え、動けないようにしているようです。

そのあまりの素早さに、皆さん驚きの声を上げています。

きっとサイレントメタル達も、このような方法で攻めてくるとは思わなかったでしょう。

そうしている間にエリシタール星人が、へびつかい座の方角から、ひとつのグループを連れてきました。

彼らは、自分達の事を「ソラリドット星人」と名乗りました。

彼らは、地球のITや科学技術に近い系統の科学を持っていますが、現在の地球よりも100年ほど進化しているようです。

彼らの目的は、科学技術を愛に基づいて使用することで、科学と人間性の調和を作りあげることのようです。

ソラリドット星人は、エレナさんから、地球の IT や科学技術、サイレントメタル達の状況を詳しく聞いています。

そして、自らインターネット回線に入り、捕えられているホワイトメタル達の弱点を調べています。

おそらく数分間の時間でそのことを調べ上げたようです。

まるで映画で出てくるような進化したコンピュータのようなものをさっとだすと、いくつものボタンやキーボードを操作しています。

そして、ホワイトメタル達にどんどん情報を送っているようです。

ホワイトメタル達の姿が変わり始めます、いえ姿だけでなく能力も大きく変わっていくようです。

ソラリドット星人によるホワイトメタルの修復が行われたようです。

まるで、大きな口を持ってぱくっと飲み込んでしまうような動作をしています。

単純といえば単純そうな構造ですが、一体何が起きるのでしょうか。

新しいホワイトメタル達が、インターネット回線に入っていきます。

すると彼らはどんどん分裂を続け、新しいホワイトメタルを作り出し、様々な回線のなかに入り込んでいきます。

ソラリドット星人はその状況をずっとコンピュータで見ながら、時々ボタンを押したりキーボードをたたいて、ホワイトメタルの機能の修正を行っているようです。

ホワイトメタルが、サイレントメタル達に遭遇したようです。

ホワイトメタルはサイレントメタルに接触すると同時に、そのおおきな口でサイレントメタルを飲み込んでしまいます。

そして次の瞬間には、同じ姿でプログラムが書き換えられたサイレントメタルが、ホワイトメタルの口から出てきます。

まるで、コンピュータにトラブルを起こすウイルスが、一瞬にしてコンピュータを守るための機能に変わっていったようです。

生まれ変わったサイレントメタル達は、インターネットの回線を移動しながら、サイレントメタルによって支配されたりコントロールされたりしている機器の修復を行い始めました。

新しいホワイトメタルは、どんどんサイレントメタルを正しいエネルギーに変えていっています。

捕えられていた旧式のホワイトメタル達も見つけたようです。

彼らを新しいホワイトメタルが飲み込むと、旧式のホワイトメタルは、新式のホワイトメタルに生れ変わっていきます。

その様子を見てスターピープル達も大喜びで、このシステムは、いろんな星でも使用できると絶賛しています。

やがて、私達を IT や通信機器によってコントロールしようとするサイレントメタルは駆逐されていったようです。

姿形は、今迄と同じサイレントメタルですが、彼らの目的は、人々を支配する事ではなく、人々に科学技術を用いることで幸福になってもらう事です。

もちろん地球の物理世界においては、人間と同一化したサイレントメタル達が多いので、その者達の処理を行う事はできませんが、愛をもって科学技術を使用する科学者はこれから増えていくことでしょう。

次の問題は、ホワイトメタルによってプログラムを書き換えられたサイレントメタル達の異変に気づいたプレデター型生命体がどのような動きを見せるかという事でしょう。

PART4 愛によって科学技術を使用するソラリドット星人

夜になると、今回活躍してくれたソラリドット星人が、エレナさんに伴われて、私達のもとに挨拶に来てくれました。

彼らは、へびつかい座のラスアルハゲ星の近くにある惑星ソラリロッド星の出身です。

星の名前である「ソラリドット」というのは、流れるような秩序に基づいた、規則正しい、というような意味でもあるようです。

ソラリロッド星はテクノロジーに特化した星で IT や通信技術が発達した星です。

かつては、へびつかい座でも星同士が進化を急ぐあまり、様々な技術競争や戦争などが行われましたが、へびつかい座のアセンションに伴い、現在では争う事を止め、多くの星が調和を持って活動しているようです。

「ソラリドット星の皆さん、今回は本当にありがとうございました。

私達もアセンションを目前として、多くの地球外生命体達に、様々な妨害を受け苦戦していたところでした。皆さんのおかげでこの危機を乗り越えることが出来ました。

皆さんにとっても深く感謝しています。」

ソラリドット星人は、私達に感謝されたことに喜びをもって答えてくれます。

「いえ、この地球のアセンションは、私達がかつて通ってきた道です。

私達が犯した過ちも、この地球で同じように起こっていますが、私達はその解決法を良く知っていますので、きっと皆さんのお役に立てる事と信じています。

私達は、あらかじめ、この地球のアセンションをサポートすることを決められていたので、その時期が来たために、地球にやってきました。

これから、科学技術や IT などに関する事は何でもご相談ください。

私達にできる事なら、どのようなことでもサポートさせていただきたいと思っています。」

私達はそれからしばらくの間、地球の科学技術について話をしていました。

ソラリドット星人のメッセージを下記にご紹介したいと思います。

ソラリロッド星をはじめアセンションしたへびつかい座の人々はこの宇宙を良くしようと考えています。

今までは、私達は、地球の人々とは、離れた場所において深い関係を持っていませんでした。

それは、私達の科学技術が地球の人々に影響を与えてはいけなかったからです。

私達の星座の中でいくつかの星々は、それぞれが、独自の科学技術を発展させてきました。

その中には、地球よりはかなり進化していますが、地球の人々と似かよった科学技術や考え方を持っている

星もあります。

そのような星の者達が、安易に地球人と交流して、地球人にその星の科学技術を教えてしまうと、地球人の成長が妨げられてしまう可能性があります。

今回は、地球のアセンションを前にして、IT やインターネットゲーム等に、地球外生命体が急に入り込んできましたので、私達が介入すべきであると考えて、地球にやってきました。

私達は、地球人と能力が近く、地球人の科学技術や考え方を良く理解しているので、皆さんをサポートをしやすいと思います。

私達は地球のアセンションの時期に地球に関わる事を約束されていました。

これから地球は科学の面で著しく進化を遂げるでしょう。

これから新しい発明や発見が相次ぐことになるとは思います、それらのアイデアはすでに地球人によって考え出されていたアイデアです。

私達が地球に来たことで、今迄表に出てこなかったアイデアがこれから次々と出てくるでしょう。

それは今までの地球は、光が少ない地球でしたので、科学や様々な技術が利益やお金儲けのためだけに利用されていました。

ある特定のグループの利益にならない技術やアイデアは、たとえどれほど素晴らしい物であったとしても、封じ込められ表に出ることはありませんでした。

これからの全てのジャンルの科学は地球の為、地球に生きる生命のために使用されるようになるでしょう。地球の環境を汚さないような技術、人々を幸福にするための技術が見直され、新しく生まれ変わってきます。それは愛に基づいた科学や技術の使い方です。

今迄はお金儲けの為に使われていた科学が、地球のため、生きる者のために利用されることとなります。

地球がアセンションを迎えると、地球の科学分野にとっても、光の時代の幕開けとなるでしょう。

私達は、その地球の光の時代の幕開けをお手伝いさせていただきたいと思います。

私達は宇宙の中でも、大変地球に近い科学力を持っていますので、すぐにいろいろなお手伝いができると思います。

地球の IT やインターネットの技術やその使い方は、地球が学びの時代にある間は間違えていて当然です。人々や地球の意識自体がまだ闇が多い状況ですので、皆さんが善良な方法で使えないとしても仕方がないことです。

しかし、皆さんの意識が高くなると、これではいけないと心の中で思うようになるでしょう。

私達も、過去に科学や技術の使い方を間違えて苦い思いをしてきました。

そしてそのような苦しい経験をたくさんしてきた後に、私達はもう今のような科学の使い方ではいけないと心から思ったのです。

そして今のような愛に基づいた科学の使い方をしようと決めたのです。

光の地球も、皆さんが様々な間違いに気づき、改めていかなければなりません。

そして、科学を愛のために使っていかなければならないのです。

インターネットでのゲームに関して、サイレントメタルが入り、今の地球人のレベルを超えたものをおこなおうとしたので、私達は介入しました。

現実世界に仮想の世界を持ち込むことで、多くの混乱が生まれてしまいます。

そして、そのことに夢中になり現実生活を顧みないと、アンドロイドの様な存在になってしまいます。

パソコンやゲームの指示に従って、自分で考えることをしない人間になってしまいます。

やがては、頭にチップに埋め込まれたロボットのようになってしまおうでしょう。

それでは、人間でありながらも奴隷になってしまうのです。

IT や科学技術を愛に基づいて使用することが大切です。

自分達も、進化する前は、地球と同じような状態でした。

かつてはパソコンや IT の周波数を使用して人間の脳波をコントロールして、支配の道具に使う事もありましたが、現在は進化した科学技術力を宇宙の発展のために使っています。

地球が早くそのことを理解して、愛に基づいて科学技術や IT を使用することが出来るように、私達は見守りたいと思っています。

第3章 時の車輪と創造主

PART1 噴出する感情のエネルギー

2016年の7月後半、地球はアセンションを前に、現実レベルで多くの人の分離をはじめています。その人が行くべき世界に行けるように、世界を分けていますが、その時に人々からすごい感情のエネルギーが噴出してきます。

多くの人々の意識は、光の世界に行きたいと考えるのですが、その様な人のほとんどが日常的な生活の中で不満や怒りのエネルギーを持ち続け、自己中心的な生き方や考え方をしています。そして、自分だけは特別で素晴らしい存在だから、光の世界もきっと私だけは歓迎してくれると思っているようです。

しかし、その様な人達は、自分と同じ波長をもつ人々の世界や学びの世界に行く事になるので、光の世界にいけない事に対して大きな怒りをもちます。

時には、私達に対してその怒りや不満を向ける人達もいますので、私達はよく体の痛みとしてそのエネルギーをうけとることがあります。

しかし、その様な事の中にも、地球のアセンションを妨害したいと考える地球外生命体達や闇の創造主の企みがあるのです。

その様な時、私達の大切な友人達が鹿児島に遊びに来てくれました。

2人も私達が行ったデバインライト・ヒーリングのセミナーの受講生です。

その一人は、宇宙の光の中心的なメンバーで、今でもヒーラーとして活躍している女性です。

美樹さんは、彼女ととても仲が良く、いつも何か起こるとお互い相談し合っているようです。

彼女は様々なスピリチュアルな活動を通して多くの人に関わっているので、きっといくつもの問題が明るみに出てくることでしょう。

私達は鹿児島空港で彼女達を迎えた後に、日本でも一番大きな樹木といわれる蒲生の大楠を見に行きました。そしてそこで、2人の女性性の開放などを行っていきましたが、スターピープル達も、常に彼女の真上に宇宙船を止め、彼女のゲートを使って物理次元の問題を解決しているようです。

そこから温泉に入り食事をしている時や私達の自宅で話をしている時も、浄化と不要なエネルギーの解消は続いているようです。

いくつもの浄化とゲートの解消が終わり、彼女たちはホテルで休むために戻っていましたが、おそらくこれからが本番の様気がします。

私達は、彼女たちと別れると、少し瞑想に入りました。

もうすでに美樹さんの体に異常が出始めていますので、私達はそのことを調べることにしました。

今回は、エネルギーの探索に先日大活躍したピカフラッシュを使ってみることにしました。

通常の探索は、エネルギーのラインを回りから見ながら、そのエネルギーがどこにつながっているかを調べ

ますので、ラインを見失ったり時間がかかることもあります。

しかし、ピカフラッシュは、そのエネルギーの中を走っていきますので、間違えることなくスムーズにエネルギーを追跡して、その発信元にたどり着くことが出来るようです。

ピカフラッシュにお願いすると、ピカフラッシュは、美樹さんの体についている発信元が定かではないコードを探し出します。

そしてそのコードの中に入り、すごいスピードで走っていきます。

一瞬の内にコードの中に光がはしっていくようです。

エレナさんをはじめ、スターピープル達も、その光を見失わないように追跡しますが、ピカフラッシュの速さについていけるのは、今のところロッド星人だけのようです。

ピカフラッシュが、美樹さんの体についていたコードの発信元を見つけました。

そこには、人々の感情を操る女神の様な存在が立っています。

これは、私達が何度も何度も光に帰したはずの「情念の女神」ですが、また異なる世界から連れてこられたようです。

この「情念の女神」は、特定の人にたいする人々の感情を増幅させ、その人に対して怒りや不満のエネルギーをぶつけさせる事を行います。

そうすることで、その人は、精神的に動揺したり苦しんだりして、エネルギーと光が奪われていくのです。

今回は、さらにたくさんの人々の感情を操って光を持つ人々への攻撃を行っていたようです。

そして自分の感情を高ぶらせて怒りのエネルギーを人にぶつけていた人も、感情のエネルギーをたくさん受け取って混乱した人も、両方光の世界に行く道を踏み外してしまいます。

この時も、美樹さんにすぎる気持ちを怒りや憎しみに変えて彼女に送っていたようですが、私達は、その仕組みがすでに分かっているので、すぐに処理します。

問題は、この「情念の女神」を誰が操っているかという事です。

ピカフラッシュに、この女神を操っている存在を探し出させます。

するとそのラインは未来のディセンションした世界へと入って行きました。

PART2 地球のディセンションした未来の創造主

私達は「光彩の創造主」や「神聖なる光の創造主」を呼び出して、同行してもらいます。

フェニックス号でピカフラッシュが探し出した世界へと入っていくと一人の創造主が私達の前に現れました。

私達はフェニックス号を降りて、その創造主と話をすることにしました。

彼は、地球のディセンションした世界の中でも光が 30%しかない世界の創造主ですので、その世界は争いや殺戮に満ちた世界です。

私は、創造主に向かって話をはじめます。

「あなたは地球の未来の創造主ですね。

そのようなあなたがなぜ、21 世紀のアセンション前の地球に、感情を操るような存在を送ってアセンシヨ

ンの妨害を働いているのですか。」

彼は無然とした表情で答えます。

「確かに、私はこの世界の統治を任された創造主ですが、この世界は、闇が多い世界です。しかも最初に約束された時よりも、この世界に来る人たちがどんどん減ってきて、私は面白くないのです。私はもっとたくさんの人達がいて、光が多い世界を統治したいのです。その為に、アセンション前に、私の世界にもっと多くの人に来るようにしているのです。」

私はこの創造主が、なぜこの世界の創造主として任命されたのか、「光彩の創造主」に聴いてみました。

「この創造主は、異なる宇宙の創造主をしていた者ですが、いくつもの過ちを犯し、しばらくの間、創造主としての地位を剥奪され、人間としての生活を送らされていました。

今回は上の創造主様の意向により、地球の光 30%の世界の創造主に任命されたようです。」

私は「神聖なる光の創造主」に、この創造主を任命したのはあなたですかと、聞きましたが、「神聖なる光の創造主」は自分ではなく、もっと上の創造主であるとお答えになりました。

私は、少し不思議な感じがしましたが、創造主との話を進めることにしました。

「創造主よ、確かに地球のアセンションの状況は、一刻一刻変化しています。

そのために、どのような世界にどれだけの人が行くかはまだわかりません。

私達の光の世界も、当初予定していた数よりも、かなり減ってしまい困っているところです。

この光 30%の世界に関して言えば、この世界に来る人が少なくなるという事は、人々が学びを行ってさらに上の世界に行かれることになるわけですから、それは喜ばしいことです。

あなたも、人数が少なくなれば、それだけ一人一人の人間に対して、しっかりとした学びを行わせ、成長させることが出来るようになりますので良いのではないですか。」

「いえ、私は元の世界でも多くの人々をアセンションさせてきました。

もっと私の実力に見合った世界を私に任せていただきたいのです。

皆さんは、私の実力を過小評価していますので、私は我慢が出来ないのです。」

私達は、この創造主が行ってきたことや前に統治していた世界のことなどを随分話しましたが、前にいた世界では、アセンションした人はおよそ全体の2～3割しかいませんでした。

それを彼は見栄を張って6割の人がアセンションしたなどと嘘を言っているのです。

「記録の創造主」によると、他にも問題を多く起こしている創造主のようです。

「創造主よ、あなたは、前の世界でも創造主らしからぬ事をたくさん起こしてきました。

偉大なる高次元の創造主は、あなたが人間として学びを得て自分を反省し、今度は立派な創造主になれるだろうと思って、この世界の創造主に任命したようですが、あなたは自分のわがままばかりを優先しているようですね。

創造主は、人々がどのような成長を行うかという事に一番留意しなければなりません。

そのためには、自分自身がまず立派な存在にならなければならないのです。」

彼は、私の言葉に反抗するように目をそらします。

「あなたは、創造主として、行ってはいけないことを行いました。

ひとつは、地球の大切なアセンションを妨害しようとしてしました。

次に、人々の感情を利用して光の世界へ行こうとする人たちの歩みを妨害しました。

今回は、たとえ高次の創造主によってあなたがこの世界の創造主に任命されたとしても、私達はあなたに創造主としての資質がないという理由で、この世界の創造主を解任します。」

私は「神聖なる光の創造主」の方を向いて、彼の処理をどうするか尋ねました。

「そうですね、彼には再び人間として生きてもらいましょう。

創造主としての資質と能力を全て剥奪して、人間としてさらに学びを続けてください。」

彼は、未来の地球からすっと姿を消していきました。

PART3 感情の監獄に捕らわれていた人々

光り 30%台の世界の創造主が、創造主としての資格と能力がはく奪されたことにより、彼が私達の世界に対して仕掛けた罠がいくつも明らかになります。

今迄は、彼の創造主としての力で、私達に見えないように隠されていたのですが、今はその力がなくなりましたので、彼が行ったことが隠されなくなり、いくつもの大変な問題が表に現れてきました。

その一つは、この創造主の処理を行った数時間後、美樹さんがとても不愉快な夢を見ました。

それは、美樹さんが広い部屋に閉じ込められ、周りには美樹さんに対して憎しみや怒りの感情を持っている人がたくさん取り囲んでいます。

そして口々に美樹さんを罵り傷つけているのです。

今迄は、スピリットが閉じ込められても、このように人の感情と共に閉じ込められることはなかったので、私達も驚きました。

朝、目覚めるとすぐにスターピープル達を呼び出しました。

今回もピカフラッシュをお願いして、美樹さんのスピリットが閉じ込められている場所を探します。

ピカフラッシュは、簡単にその場所を探し当てました。

そして調べてみると、この空間は先ほど処理した創造主によって作られており、それを指示していたのは、地球を支配することを狙っているグラシャッド星人だったのです。

どうやら、ディセンションした世界の創造主が自分の境遇を不満に思っているところを、その世界にいたグラシャッド星人達に利用されたようです。

グラシャッド星人は、アセンションを妨害して、光の世界に行く人を減らせば、彼の世界に来る人が増えるといって彼を味方につけました。

そして、誰を攻撃すればアセンションを邪魔することが出来るか、またどのような方法で人のスピリットを捕えると自分達の世界に引きずり込むことが出来るか、創造主に教え、自分達の変わりに、この創造主にアセンションの妨害をさせるように仕向けたようです。

私達は、まず美樹さんのスピリットをその世界から救い出すと、その世界とつながっている世界、同じ波長

を持つ世界をピカフラッシュに探し出してもらいます。

すると、私自身を捕えた空間もあってスターピープル達の表情が一変しました。

おそらく時間をさかのぼって、私の純粋な光の部分の捕えていたようです。

このことを知らずに、アセンションを行っていれば、私のスピリットを闇の世界に残すこととなりますので、アセンションした世界に大きな闇のゲートを開くこととなります。

これは、地球のアセンションにとってみれば大変危険なことです。

この創造主自身は、大したことの無い創造主でしたが、彼がグラシャッド星人に利用されることにより、大変な危険性をはらむこととなります。

光の存在達のスピリットを閉じ込めていた空間は、まだまだたくさん見つかりました。

今回、鹿児島に来ていた2人の女性達を閉じ込めていた空間も見つかりました。

ヒーラーの仕事をしている女性を閉じ込めていた空間は、彼女の能力に対してうらやむ気持ちを持っている人や彼女にすがって生きていきたい人達の感情で満たされていました。

彼女は、自分のスピリットの自由を、すでに失っていたようでした。

もう一人の女性も、家族や仕事上の事に関係する人たちからの感情的な攻撃をうけていたようです。

他にも数多くの人達が捉えられていました。

このような場所がいつ、どこに作られていたのか、「光彩の創造主」達も気づかなかったようです。

しかし、ファースト・コンタクトを行う前に、この場所が明らかになり、光をもった人々が救いだせたので、私達は一安心です。

PART4 時の車輪を狂わせる

私達は、さらに鹿児島に来てくれた2人のスピリチュアルな状況を調べていくと、大変なエネルギーが、彼女たちの後ろに見え隠れしていることに気づきました。

まるで真っ黒な雨雲によって作られた大きな渦です。

その渦は、轟々とした音を立てて渦巻いています。

スターピープル達は見たこともない光景に恐れを感じています。

私は「光彩の創造主」や「神聖なる光の創造主」にこの大きな渦の事について尋ねました。

「神聖なる光の創造主」は、この渦を見ると調べる事があるといっすぐに消えていきました。

「光彩の創造主」はこの渦を見て私達に教えてくれます。

「おそらく、この渦は、宇宙の時間を管理している「時の車輪」に関係しているかもしれません。

時の車輪は、この宇宙に生きる人々の時間を管理するもので、特に大切な目的や仕事を共有する人たちが、地球のような物理次元の世界で出会い、共に活動していくきっかけをつくるための物です。

そのきっかけにより2人が出会い結婚したり、大切なものを発明したりします。

しかし、この「時の車輪」が狂わされたら、出会うべき人達が出会うことが出来なくなります。

すると、未来にとって重要な役目を持つ子供達が生まれなかったり、大切な発明や仕事もなされなくなるのです。」

スターピープル達もこのようなものを見たことがないらしく、「光彩の創造主」の話を真剣に聞いています。
「それでは、「時の車輪」が狂わされて、私と美樹さんが、今回出会えなかったらどうなりますか。」
私は、「光彩の創造主」に尋ねました。

「その時の未来は、皆さんが最初に見た、荒涼とした地球です。
アセンションは起こらず、そのままの地球では核戦争が起き、地球の表面には誰も生きることが出来ない世界になっていたでしょうね。」

私達が話をしている間に、「神聖なる光の創造主」が戻ってきました。

「やはり、誰かが大切な「時の車輪」に細工をしたようです。
TAKESHI さん、そして皆さんをこれから「時の車輪」にご案内いたしますので、この問題を解決してもらえませんか。」

私達はフェニックス号に乗り込み、「時の車輪」に向けて進みます。

「時の車輪」につくと一人の管理者が、私達を待っています。
時の管理者は、私達が来ると、大変申し訳なさそうな顔をして、私達を「時の車輪」に案内します。
「時の車輪」はとても大きな光の渦なのですが、私達が見る「時の車輪」は、黒いエネルギーで覆われた渦になっています。

時の管理者は、私達に頭を下げて謝ります。

「創造主様、大変申し訳ありませんでした。
私の眼には、何もなかったかのように正常に動いて見えていたのですが、今朝から急にこのような状態になってしまいました。
本当に申し訳ありません。」

「神聖なる光の創造主」は、時の管理者を慰めるように言います。
「大丈夫です、悪いのはあなたではありません。
おそらく、しばらく前から、この「時の車輪」は操作されていたようですが、あなたには正常に見えるように幻覚が作られていたようです。
おそらく、ディセンションした世界の創造主が、グラシャッド星人にそそのかされて、この事を行ったのでしょう。
しかし、彼にはここまでの力はないはずですから、時間を超える能力を持った創造主が協力していたに違いありません。」

「神聖なる光の創造主」は「記録の創造主」と「予測の創造主」を呼び、この「時の車輪」が何時頃、彼らによって狂わされたのかを調べさせています。

「おそらく5か月ほど前に、この「時の車輪」の一部が変更されているようです。
しかしその変更は、様々な世界において共通のようですので、これは地球のアセンションだけでなくいくつもの宇宙にも大きな影響を与えるものと思われます。」

私は、現在の地球やこれからの地球に対してどのような影響があるか聞いてみました。

「そうですね、一番大きな影響は、アセンションしていく地球においても境界の地球においても、これから

の地球をリードしていく子供たちが生まれなくなるという事です。

大切な人達の出会いや結婚のタイミングは、この「時の車輪」によって管理されていますので、そのような夫婦は、「時の車輪」によって計画的に出会い、計画的に出産しますが、その計画がすべてずれてくる事が考えられます。

すると、創造主が計画した出会いと出産が起こらず、地球をリードしていく子供達が生まれなくなることになり、地球はどんどん衰退していくでしょう。

また、子供だけでなく、これから地球人が宇宙に出るにあたって必要な宇宙工学に関する発明もなされないかも知れません。」

私達は、すぐにでも、この「時の車輪」を基に戻さなくてははいけません。

私達は、フェニックス号に乗り、時間をさかのぼって「時の車輪」が操作された時に戻る事にしました。

「予測の創造主」によって予測された時期の少し前に戻り、しばらく様子を見ています。

するとある晩、ディセンションした世界の創造主がもう一人の創造主を伴って現れます。

彼らは時と空間を超えてきたようです。

空間が光輝いたかと思うと、そこから出てきました。

私達は、彼らが「時の車輪」を操作し始めた時をねらって、背後から捕まえます。

突然、私達が現れたので忍び込んできた2人の創造主は驚いて声を上げます。

「誰だ！」

誰だといわれても、お前たちこそ誰だ！と言いたい気分です。

私達はすぐにこの2人の創造主を捕えました。

ディセンションした世界の創造主と一緒に来たのは、彼が元いた異なる宇宙に属する創造主のようです。

この2人の創造主は、「神聖なる光の創造主」がいることで、自分達の計画がばれてしまった事がわかったようです。

2人は慄然とした表情で立っています。

私は彼らに問いかけます。

「あなた方は、この「時の車輪」の役割を知って、操作を行おうとしましたね。

創造主であれば、「時の車輪」に変更を加えることや時間を操作することは固く禁じられているという事を知っているはずですが、何故このような事をしたのですか。」

異なる宇宙に属する創造主は、私達をばかにするような表情で言いました。

「私達を光に帰すのなら、どうぞそうしてください。」

私はすぐに、彼らを操っている創造主がいることに気づきました。

おそらくここで光に帰されても、すぐに過去に戻って生まれ返らせてあげるから、とでもいわれているのでしょう。

私はピカフラッシュを走らせ、彼を操っている創造主を探らせました。

すると、すぐにピカフラッシュは、私達に異なる宇宙の創造主達の姿を送ってきてくれました。

「神聖なる光の創造主」に確認すると、この創造主達はディセンションした世界の創造主が元いた世界の創造主達で、「神聖なる光の創造主」の管理下にある創造主のようです。

私はこの生意気な創造主にいました。

「わかりました。それではあなたをお望み通り光に帰すことにしましょう。

ただし、あなたを操っている創造主も判明しましたし、彼らは「神聖なる光の創造主」の管理下にある創造主ですので、彼らによって、あなたが生き返る可能性は、全くありません。

それでよろしいですね。」

彼の表情が一瞬にして変わりました。

私達の体にすがるようにして命乞いをします。

「どうかお許してください。

私は、仲間の創造主達に命じられて、この仕事の手伝いをしただけです。

私は、「時の車輪」を操作することは禁じられているので止めようと、何度も言ったのですが、この創造主が聞いてくれなくて困っていたのです。」

ディセンションした世界の創造主は、自分と一緒に来た創造主の急な心変わりには驚いています。

もちろん、誰が聞いてもこの創造主が嘘を言っていることは分かります。

私と共に来たスターピープル達も、あきれた顔で見えています。

私はこの創造主に言います。

「それでは、私達と共に、あなたに無理やりこの仕事をさせた創造主達のもとに行きましょう。

そして同じことを彼らに言ってください。」

創造主の顔が、また一段と大きく引きつりました。

私達は、2人の創造主を連れて、ピカフラッシュが教えてくれた座標にフェニックス号を移動させます。

N05 創造主の役割

そこに待っていたのは数10名の闇の創造主達です。

私達が、「神聖なる光の創造主」を伴って来たことに驚いています。

しかも、「時の車輪」を操作に行った2人の創造主まで捕まえられてしまったので、もう言い逃れはできないと思っているようです。

私は、彼らのリーダー格の創造主と話をします。

「皆さんは、「時の車輪」を操作することで、時間を狂わせることを行いました。

これは、創造主として行ってはいけないことですが、何故あなた方はそのような事をしたのですか。」

リーダー格の創造主は、しょうがないな、という顔をしています。

「私達は、この宇宙の闇の世界の創造主です。

いつかは皆さんが来られるのではないかと考えておりました。

私達の世界は、現在闇の世界がどんどん小さくなっています。

人々が光の世界にはいる事によって、私達の世界の人々が少なくなっているのです。

私達は、自分の世界にもっとたくさん人が来るようにしたいのです。
その為に時を狂わせ、人々を闇の世界にひきずり込もうとしました。」

「神聖なる光の創造主」が、リーダー格の創造主と仲間達を見ながら話し始めました。
彼女は、創造主達にたいして、失望感を抱き起こっているようです。
「皆さんは闇の創造主だから、と言われますが、光の創造主も闇の創造主も目的は同じです。
そこに生きる人々を進化させて素晴らしい宇宙を創る事です。
光の創造主は、人々に叡智や愛を与えて進化させます。
皆さんは人々に試練や学びを与えて、人々を立ち直らせ、強靱な精神力を作りあげていくのが役目です。
光の創造主と闇の創造主が一つになって、人々を鍛え上げ、光を強くして、世界を良くしていかなければならないのです。」

しかし皆さんは、人々を導いて学びを与える事を、自分が人々を自由に支配できる事と勘違いしています。
その為に、光の創造主と縄張り争いをしたり、光の世界に行くべき人をだまして闇の世界に連れ込んだりしています。
そして、今回のように、自分の世界を広げるために、宇宙の大切なルールを破って「時の車輪」を操作したりしました。
皆さんは、創造主の役割や責任を少しも理解していません。
皆さんの中にあるのは、星に生きる人々にも劣る自己中心的な感情だけです。
私達、高次の創造主は、皆さん方を恥ずかしく思います。

どうして、これほどまでに創造主としての理念を失い、宇宙を混乱させ、人々の進化を妨げるようなことをするのですか。
光の創造主と協力して素晴らしい宇宙を創る事をしないのですか。
私は、皆さんを許すことが出来ません。」

私やスターピープル達はいつも優しい「神聖なる光の創造主」がこれほど強い口調で創造主達を戒める姿を見て驚いています。
しかし、私達がアセンションに向かう道のりを邪魔してくるのもやはり創造主達です。
私も、今まで多くの自己中心的な創造主達を見て失望してきました。
「神聖なる光の創造主」が怒りたくなる気持ちも十分に理解できます。

私はこの宇宙の創造主達に向かって言います。
「皆さんは、「神聖なる光の創造主」のおっしやられたことが理解できますか。
自分は「神聖なる光の創造主」がおっしやられたことを守り、これからは光の創造主と共に仲良く宇宙を進化させるために努力する、という創造主はいますか。
私達の意見に同調する創造主は。どうぞこちらに来てください。」

数名の創造主が周りを見渡しなが、恐る恐る動き始めます。
闇の創造主のリーダーは怒ったような表情を見せますが、力がありません。
自分達の過ちが知られてしまい、光に帰されるのが分かっているようです。

「神聖なる光の創造主」は、私達の意見に賛同する創造主を残して、他の創造主を光に帰していきます。おそらく、この創造主達に対しても、グレシャッド星人達が関わっていたかはわかりませんが、創造主たる者、自分の心の中で「平和と愛」に対する確信がなくては、創造主として大切な任務を果たすことが出来ない事だけは確かなようです。

もちろん先ほどの口だけの創造主も光に帰されたようです。

私達は、この宇宙の闇の創造主の中でも、数名残った創造主に話をします。

彼らは、今迄の自分達の考えを改め、新しい宇宙に向けて、光の創造主達の指導を受けることにしました。

私達は、再び地球に戻る事にしました。

第4章 悲しみのラピスと感情をコントロールする女神

PART1 鹿児島にやってきたファラオ達

現在スターピープル達が、毎日行っていることは、スターピープルと人類が地上で初めて出会うファースト・コンタクトを前にして、地球の人々の意識を高めることです。

その為に、スターピープル達は高波動のプラナーナエネルギーを宇宙船から地上に送っています。

それは、日本だけでなく世界各地で行われています。

その為に、人々の中から意識進化に不要な感情のエネルギーがどんどん噴出しているようです。

スターピープル達は、昼間は、意識進化のためのエネルギーを流し、夜は人間の中から出てきた不要な感情のエネルギーを浄化するという事をずっと行っているようです。

しかし、人間の感情のエネルギーが浄化しても浄化してもたえず生みだされてくることや、人間の潜在意識に光を送っても、なかなか変化がないことに、スターピープル達も焦りを感じているようです。

その様な中、鹿児島で「黄金のファラオと大ピラミッド展」が始まりました。

この展示会は、昨年冬、東京の六本木ヒルズでおこなわれたものと同じ内容です。

私達もちょうど東京セミナーの前日に行き、アセンションを願う古代エジプトのファラオ達を復活させ仲良くなりました。

古代ファラオ達の中には、私のスピリットの一部でもあった「隻眼のファラオ」もいて、共にアセンションのために活躍する事となりました。

彼らとの最初の仕事は、茨城セミナーの時でした。

古代ファラオ達に幻影を見せて、お互いを争わせ破滅に追いやった幻影の創造主達（ファントム）を追い詰め処理する事でした。

其れ以来、ファラオ達は、私達の大切な仲間として共に戦ってくれたのです。

その様なファラオ展が7月末から9月初旬まで鹿児島の黎明館で開かれています。

このアセンションの一番大切な時期に仲間であるファラオ達が、鹿児島に来てくれて共にアセンションを迎えることが出来るというのは、私達にとっては最高のギフトです。

もちろん7月末に私達は、「黄金のファラオと大ピラミッド展」に出かけました。

すると、東京で見た時はとても緊張感があり、ファラオ達も苦痛や悲しみに満ちていたのに、今回は、ファラオ達の表情もエネルギーもとてもやわらかく希望に満ちています。

ファラオだけでなく、ファラオを入れていた棺、そして最後の黄金のマスクも苦しみや悲しみから脱却した神聖さであふれていました。

特に、ファラオの頭部だけの彫像、頭が帽子をかぶっているせいで、頭がながく見える彫像は、私達が最初見たときは、凶悪な地球外生命体の影響をうけ、とても傲慢で怖いエネルギーを持っており、私達に、恐れを抱かせるような言葉を発してきたのですが、今回はそのエネルギーもなく、人の好いおじさんという感じ

のエネルギーに変わっており、私達もびっくりです。

展示室の中を回っているとファラオ達の意識が流れ込んできました。

「TAKESHI さん、美樹さん本当にありがとうございます。

皆さんのおかげで、地球のアセンションがどんどん進んでいます。

これは私達にとっても長年の夢でした。

皆さんと同じ場所で、共にアセンションを迎えることが出来たら、私達は、どれほどうれしいことかと思えます。

もうすぐ、ファースト・コンタクトですので、私達は全力で皆さんをお守りします。」

そう言ってファラオ達はお腹の中にある創造主の子供に触れながら、希望の光を満たしていきました。

私達にとっても、現実世界の守護にすぐれたファラオ達が近くにいることでとても力強い気がします。

PART2 ラピスに宿った悲しみ

その夜、到着したばかりのクリスタルの箱を開けます。

私達のところで販売するクリスタルは、私達が念入りにエネルギー・チェックをして、ネガティブなエネルギーが入っていたら徹底的に浄化を行います。

そして大天使や創造主の光で満たしてあげると、クリスタルはどんどん活性化して美しい虹やイルミネーションの様な輝きが出てくるのです。

今回は、大きなラピスラズリーの原石が6個ほど届きました。

全てが1~2k位もある大型の石ばかりで、見事に磨かれ輝いています。

古代エジプトでもラピスラズリーは守護の石として尊重されていたので、古代ファラオ達もとても喜んでくれることでしょう。

しかしその中にとっても大きな悲しみに満ち溢れたラピスラズリーが1個だけありました。

そのラピスは2kほどもあるラピスで、今回仕入れた中では最大の大きさのものです。

写真で見たときから、とても気になるエネルギーを持っているラピスでした。

美樹さんが、このラピスを持つと深い悲しみに腕がしびれるほどの大きなエネルギーを持っています。

このラピスのエネルギーを調べると、いくつもの時代において大きな悲しみを受け取っていることが分かりました。

ファラオ達に、このラピスの事を知っていますかと、聞いたら、「隻眼のファラオ」が答えます。

「このラピスはファラオ時代でも、有名な女王が持っていたラピスでした。

彼女は国民の事を良く考えて素晴らしい統治を行う女王だったのですが、このラピスの魔力によって、次々と哀しい事件が起きてしまいました。

その悲しみの中で、この女王はなくなってしまったのですが、それ以来、守護の石とされるラピスでありながら、この石はさまざまな不幸を呼び寄せていったのです。」

私は、少し不安になり、この石の起源を調べようと思いました。

私達は、クリスタルや鉱石の事についてとても詳しいクリスタルキングを呼び出しました。
彼の本体は、クリスタルそのもので、クリスタル種族のリーダーでもあります。
彼にこのラピスラズリーの事を調べてもらう事にしました。

「TAKESHI さん、このラピスラズリーは、もとは海の中にアトランティスがあった頃、アトランティスの大いなる守護の石とされておりまして。

その頃は、およそ人の体を超えるほどの巨大な岩石でした。

アトランティスの人は、自分達の幸福と発展をこのラピスに祈り続けてきたのです。

このラピスは古代アトランティスの守護の石として、古代アトランティスの人々を守り続けてきました。
やがてマーピープルの中から陸に上がり、地上の人と共に新たなアトランティスをつくる時期がやってきました。

最初は、マーピープルと地上の人達は仲良く仕事をしていたのですが、やがて地上の人がマーメイドやマーピープルを奴隷のように扱いはじめたのです。

マーメイドやマーピープルの中には、地上のアトランティスの人達の横暴な行いに反対する者達も出てきました。

そこで、地上に上がったマーピープルは、海に残ったマーメイドやマーピープルの力と繁栄の象徴であった「聖なるラピス」を破壊したのです。

そしてこのラピスに、海に残るマーメイドたちがこれから不幸な事ばかりを体験するようにと呪いをかけたのです。

このラピスは、マーメイド達が滅ぼされた後の時代に、呪いの事を知らない人達によって、この場所から持ち去られ、いくつかに分けられて売買されましたが、このラピスを手にした人達には、マーメイドと同じように、次々と不幸が襲ってしまったのです。

本来は、このラピスは地球上でもっとも神聖な石の一つでした。

古代アトランティスとマーメイド達にとっては、かけがえのない大切な守護の石だったのです。

しかし、陸のアトランティス人達の呪いによって、この石は不幸を呼び寄せる石となってしまったのです。」

私達がこのラピスラズリーのエネルギーを見ると、古代エジプトだけでなくいくつもの時代が見えてきます。
まるでこの地球の苦しみや悲しみをたくさん詰め込まれているかのごとく、重苦しいエネルギーが立ちこめています。

しかし、そこで私は一つの事に気づきました。

このラピスが様々な時代に、その時代の中心となるような人々のもとに渡り、その人や国を不幸にしたのならば、その時代の人々の苦しみや悲しみの意識と深くつながっているはずです。

このラピスをとおして、その人達の潜在意識に触れることが出来るなら、その当時の潜在意識を浄化することもできるはずです。

地球では、アセンションを目の前にして、多くの人々の潜在意識の中にある苦しみと悲しみが沸き起こっていますが、その処理がうまくできずにスターピープル達も苦勞しています。

私達が、このラピスラズリーを通して、人々の潜在意識に入り、内側から感情のエネルギーを浄化することが出来るなら、潜在意識の浄化は今よりも早く進むに違いないと、思います。

私はその計画をエレナさんに話すと彼女も賛同してくれます。

私達は、浄化の働きを持つ創造主とスターピープル達に集まってもらいました。

私と美樹さんが、このラピスラズリーを手に持ち、一つ一つの時代の人間の潜在意識にアクセスしますので、創造主とスターピープル達が、私達を通して、それぞれの時代の潜在意識に浄化の光を送り込むという計画です。

私達は意識をひとつにして、ラピスラズリーのエネルギーの中に入っていきます。

現代から様々な文明を通り抜けて古代エジプトへ、私達は一つ一つの時代に光を送ります。

古代エジプトの時代にはいると、体がしびれるような感覚と熱さを同時に感じます。

ファラオ達は、その時代に戻り、ラピスに直接光を送っています。

古代エジプト時代に起こった戦争や土地の奪い合い、人々のだましあいなど、その時代に起こった出来事と人々の怒りや悲しみ、憎しみなどの感情に光を送り癒しています。

古代エジプトから、古代アトランティスの時代へとさらにさかのぼります。

苦しみの中で傷つき死に絶えていくマーメイド達の姿が見えてきます。

魔法使いマーリンや大天使ラジエル達もやってきて、ラピスラズリーにかけられた悲しみの封印を解き放つために、神聖幾何学を描き、呪文を唱えています。

やがて、このラピスラズリーから少しずつ光が広がっていきます。

うつくしいラピスラズリーの青い色の中に金色のパイライトが輝いています。

今まで以上に神聖で美しい輝きがラピスに戻ってきました。

そしてそれと共に、地球が古代から抱えていた負のエネルギーがだいぶ解放されたようです。

私達の上では「愛と浄化の創造主」が、多くのエネルギーを光に変えています。

地球の古代文明の中に残る憎しみや恐れは、計り知れない力を持っています。

そしてその力で、自分達以外の文明を不幸においやろうと狙っているのです。

私達は、この「神聖なるラピスラズリー」の石を使用して、いくつもの時代の感情を浄化することが出来たようです。

この仕事が終わった時、石の側面に、祈りをささげる女性の姿がはっきりと写し出され、私達を驚かせました。

不幸の封印が解けた今、このラピスラズリーは本来の力を取り戻します。

「神聖なる守護の石」として、地球の人々のエネルギーの浄化に貢献しつつ、地球のアセンションを見守るのです。

PART3 感情をコントロールする女神

昨夜は、ラピスラズリーによって、地球のいくつもの時代の潜在意識にアクセスして、その時代の悲しみや苦しみを癒してきました。

今朝のラピスラズリーは、とても落ち着いていて優しい波動に満ち溢れています。
ラピスラズリーの美しく深いブルーと神聖な叡智を表す黄金色が見事に組み合わせられて美しい模様が浮かび上がります。

しかし、今日の明け方に、美樹さんの体に異変が発生しました。
腰のあたりに痛みが走っているようです。
そしてその痛みと同時に、様々な人の感情が心の中に流れ込んできます。
私達はピカフラッシュを中心にして、その痛みを出しているエネルギーがどこから来ているか調べてみました。
すると、暗闇の奥に、真っ赤な目をした怒れる女神が立っています。

この怒れる女神は、まるで私達が何時も処理している情欲の女神にそっくりです。
「光彩の創造主」に来てもらい、この女神の事について聞いてみました。
「この女神は、いくつもの宇宙において人々の感情をコントロールする女神です。
創造主ではありませんが、女神の中では最高クラスの存在で、創造主にも匹敵するほどの力を持っています。
彼女は、ひとつの星の状況が大きく変化するときや戦争などが起きている時に、その星の人々が持つ感情が増大して大きなエネルギーとなり、他の星々にさまざまな影響を及ぼすことを防いでいる女神です。
地球で言えば、このアセンションの時に、人々の感情のエネルギーが増大しますから、そのエネルギーが他の太陽系の惑星や天の川銀河の星々に影響を与えないように、守護を行う働きをする女神です。

本来ならば、地球のアセンションにともなって、地球人から沸き起こってくるエネルギーを処理して他の星々に影響が出ないようにするために、この地球や太陽系にも姿を現してもよい時期なのです。
しかし、この女神があらわれないので、私達も不思議に思っていたのです。」

私は、この女神がネガティブ・コードによってコントロールをうけていないか調べてもらいました。
ロッド星人がこの女神の後ろについているコードを発見して抜き取りました。
すると、この女神の真っ赤に燃えたぎったような目が少しずつ落ち着いてきました。
彼女は誰かにコントロールをうけて、人々の感情を抑えるのではなく、反対にその感情を増幅して人々を混乱させていたようです。

「エレナさん、どうも地球の人々の感情が荒々しく高まっていたのは、この女神が、本来自分が行うべき仕事とは逆の事をしていたせいではないでしょうか。
本来は、地球の人々の感情を落ち着かせ、浄化していくことで、人々を光の世界に向かわせなければいけないのに、逆に人々の感情を増幅して、人々を混乱させていたのではないのでしょうか。」

「そうですね、私もそのように思います。
人々の感情がこのような時期に吹き上がってくるのは当然の事なのですが、あまりにもその感情の嵐が大きすぎるのです。
私達もどこかで人々の感情が操作されているのではないかと疑っていました。
本来ならば、「すべての意識を生み出す創造主」の問題が処理されたときに人々の感情に関わる問題は終わっているはずですが、未だこの女神が残っていたために、地球人の感情が収まっていかなかったのですね。」

加えてロッド星人も話をします。

「この女神は、地球だけでなく様々な宇宙で、特定の星で起きた感情やエネルギーが、他の星に波及しないように守護をする女神のようですから、この女神が自分の役割をはたしていないという事は、他の星々にも大きな影響が広がっている可能性がありますね。

地球の問題が終わったら、その事も調べてみる必要があるでしょう。

しかし、この女神もおそらく正気に戻り、自分の役目を思い出し、しっかりと仕事をこれからしてもらえれば、地球だけでなく宇宙全体が安らかになるのは間違いないでしょう。」

私達の会話をしばらく聞いていた女神が私達に問いかけます。

「まさしく私は、人々の感情をコントロールして、特定の星の人々の感情を鎮め、他の星に影響を与えないようにする女神ですが、皆さんのお話によると、私は自分の仕事をきちんと行わずに、人々の感情を荒立てるようなことを行っていたという事でしょうか？」

エレナさんが彼女を慰めるように言います。

「確かにそうなのですが、それはあなたのせいではありません。

あなたは、誰かにコントロールチップを入れられて、自分の理性を失わされてしまいました。

そして、本来は地球の人々の感情を鎮め、光ある人々をアセンションへと導かなければならなかったのですが、逆に人々の感情を高め、人々を混乱に導いたのです。

でも、これはあなたが、自分の意思で行ったことではありません。」

女神は、その事を聴いてとてもショックを受けています。

本当は、とても優しくて献身的な女神のようですから、自分がしたことが許せないようです。

「本当に皆さん申し訳ありませんでした。

どうしたら、私に償いが出来ますか。

創造主様、どうか私を罰してください。」

「光彩の創造主」も困った顔をしています。

「いや、女神よ、私達は誰もあなたを罰することはしません。

この方たちと共に、地球に降り立ち、あなた本来の仕事をしてくださることが今は大切です。」

エレナさんも、泣き崩れる女神の肩を抱いて、地球に来て私達を手伝うように言っています。

「女神よ、ひとつ調べなければならないことがあります。

あなたは自分の意識を失う直前に、最後に誰に会いましたか、おしえてください。」

女神は、自分の記憶をたどっているようです。

そこに現れたのは、闇の創造主でもグレシャッド星人でもなく、一人の神々しい創造主の姿でした。

PART4 創造主の試練

その姿をみた「光彩の創造主」は驚いています。

この創造主は、「神聖なる光りの創造主」を生みだした創造主で、私達も1度お会いしたことがあります。

今私の前に現れている最高次元の創造主といっても過言ではない創造主です。

まさかこの次元の創造主が、光の創造主の総意で行っている地球のアセンションを邪魔するとは思えないのですが。

その時、この創造主が私達の前に現れました。

お名前は「全ての創造主に試練を与える創造主」とおっしゃられました。

創造主の輝きが、私達を覆っていきます。

「TAKESHI さん、そしてスターピープルの皆さん。

遂にここまでたどり着きましたね。

私は、皆さんが地球のアセンションのために、ひとつに力を合わせて働いてくださったことを心から感謝しています。

皆さんは、何故私がこの女神を使って人々の感情を操り、アセンションを邪魔したのか、不思議に思っていることと思います。

いえ、お怒りになっていることでしょうね。

今回の件だけでなく、前回のディセンションした世界の創造主を任命したのも私ですから、問題の火種を生み出したのは、まさしく私であるといえましょう。

しかし、この程度の事くらいでくじけるようでは、これから先の世界を創造する者としては力不足です。

創造主の世界にも、本当に強い信念と高い判断力を持っている創造主は決して多くありません。

スターピープルの皆さんの方が、創造主達よりも素晴らしい資質をお持ちになっています。

それは、皆さんがあらゆる試練を乗り越えて戦ってきたためでしょう。

星を守るため、人々を守るため、そして宇宙を守るため、自分達の身を犠牲にして働いてきました。

今の創造主達には、皆さんの様な一生懸命さがなく、ただ惰性と自己中心的な思いだけで宇宙の創造を行っているのです。

光の創造主も、人々を導くのではなく、自己中心的な欲望で人々を支配し、その叡智を伸ばしてあげてをしません。

其れも、もっともなことでしょう、彼ら自身が本来の叡智を失っているのですから。

闇の創造主も、人々を鍛え上げることをせず、ただ自分の思った通りに動くように管理しています。

そして、光の創造主に対抗して、自分の世界を広げる事ばかり考えているのです。

創造主達があまりにも無益な争いを繰り返している間に、グレシャッド星人の様な狡猾な生命達がどんどん力を伸ばし、この宇宙を蝕んでいるのです。

私は、創造主達が自分の宇宙の危機を感じて動き出すかと思っていましたが、多くの創造主達はその危機にも気づかず惰眠をむさぼっていました。

その為に、私達は TAKESHI さん達をこの地球に降ろしていったのです。

もちろん、皆さんと同じような働きをする者達を数 10 名地上に降ろして、皆さんで協力してこの地球をより良いものにかえ、宇宙の希望を地球から灯そうと考えていました。

しかし、分別のない創造主達と地球の支配を望む地球外生命体達によって、私達が地球に降ろした者達は、そのほとんど者たちが自分の使命を果たすこともできずに消えてしまいました。

本来であれば、あなた方のサポートを行う役目を担うはずだったのですが。

私はその状況を見て、考え直しました。

まずやるべきことは、無能となった創造主達を生まれ変わらせることなのです。

私達、高次の創造主は皆で話し合い、TAKESHIさんと美樹さんに特別な力を与えました。

そして、高次の創造主やそれにつながる創造主やマスター達で計画を練り、創造主の立て直しを行う事にしました。

それが、この3年の間に皆さんが行っていただいたことの理由です。

創造主として役に立たない者達をたくさん残しては、地球のみならず、この宇宙にとっても決して良いことではありません。

しかし、創造主を、ただ光に返していただくだけでは、問題は解決しません。

あなた方が、一人一人の創造主に対峙して、何が問題だったのか、何がいけなかったのかという事をはっきりと示さなければ、他の創造主に対しても学びにならないからです。

これからの宇宙は、叡智と判断力を持った創造主達によって統治されなければなりません。

そして、あなたには、その様な創造主達をまとめ導いていく力量と判断力が必要なのです。

確かに、あなたは今まで、誰もできないことを行ってきました。

もうすでに、あなたは創造主としての類まれなる資質を身に着けたといっても良いでしょう。

しかし、創造主のリーダーとしては、まだまだ経験も叡智も足りません。

もう少しだけ、自分の能力と資質を磨いてください。

私達は、その為に、まだいくつもの試練を準備しています。

どうか、私達を信頼してついてきてください。」

私達はしばらく沈黙していました。

ロッド星人が私の肩をたたきます。

「私達も同じように試練をたくさん受けてきました。

TAKESHIさんの場合は、3年くらいで終わるならありがたいですよ。

私達の種族では、その試練が何千年も続くのですよ。」

確かにロッド星人は、1億年くらい生きますので、試練の時間も気が遠くなるような年月かもしれません。

3年なんて、彼らの感覚で言うと、数秒程度の事でしょうね。

これを辛いという方が、わがままという事でしょう。

私もロッド星人に笑って答えます。

「さあ、それでは地球に帰りましょう。

感情をコントロールする女神よ、私達とご同行ください。

これから地球でたっぷりと人々の感情を癒し制御する仕事をたくさんしてもらいますからね。」

女神は「はい!」と答えると、私達と共に地球へと戻ってきました。

女神は、それから地球でエレナさん達と共に、地球の人々の感情を癒し、浄化していく作業を手伝っています。

彼女が本来の姿を現すと、この地球を丸ごと飲み込むくらいの大きさはあるようです。
地球の人々の浄化もこれから急ピッチで進み、アセンションが近づいてくることでしょう。

第5章 アミ小さな宇宙人とパラレルワールド

PART1「アミ小さな宇宙人」との再会

8月に入ってくるとさらにアセンションが過熱し、今迄姿を現していなかったスターピープル達も私の前に姿を現すようになってきました。

そのひとつが、「アミ小さな宇宙人」で知られているブラッド星人です。

彼等は、シリウス人の中心的な種族として、レムリアやアトランティスの時代から地球を見守っています。彼等は、人々が愛に基づいて進化するように、子供たちを中心としてサポートしています。

「アミ小さな宇宙人」の本にも書かれているように、彼らは主に小さな子供たちと関わる事が多いようです。それは、未だ純粋な心を持つ子供達の方が、彼らのメッセージや考え方に理解を示してくれるからのようです。

ブラッド星人は、心の中に愛を持ち続けている人に対してサポートを行い、個人的なファースト・コンタクトを行ってきています。

彼等と現実世界で会う事によって、心の中に宇宙への興味がわき、宇宙人と出会う時も違和感なくコミュニケーションが行えるように、潜在意識の中に宇宙人との友達意識を植えこんでいるのだと思います。

「アミ小さな宇宙人」3部作は、とても夢のある素晴らしい本ですが、これは地球人が、やがてスターピープルとファースト・コンタクトを行う時が来ることを見越して、その準備のために出版された本です。また、スターピープルと仲良くなれるように、地球人の意識進化を起こす本であるといってもよいでしょう。

その日、私に会いに来てくれたブラッド星人のブラドエルも、私が小学生の頃、よく会っていたそうです。一緒に小型宇宙船にのって星々を旅したり、地球の様々な場所に連れて行ってくれたようです。もちろん、ブラドエル達の考え方や宇宙の愛についても、きっとたくさんの事を教えてもらった事でしょう。私の潜在意識の中には、その時の記憶がしっかり残っており、それが「宇宙の光」のグループを作り「星のツアー」で、様々な星を巡る活動の基礎になっていると思います。

ただし、私が成長する過程で、この記憶が残っていると混乱するという事で、この記憶は消去されたようですが、今の私の活動を知ってブラドエルはとても喜んでくれました。

直接コンタクトは取らなくても、ずっと私達の事は見守っていてくれたようです。

彼等は沢山の仲間と共に地球にやっけてきているようです。

大きな母船をベースにしていますが、いつもは小型の宇宙船で1人か2人で活躍しています。

そして地球の子供たちの7割から8割とコンタクトを取っているようですが、彼らとのコンタクトはある時期が来ると消去されてしまうようでほとんどの子供たちは覚えていません。

しかし、これから地球がアセンションを迎えてくると、光の世界に行く人の中には、彼等と出会った事を思い出す人たちも出てくることでしょう。

ブラドエルは、私達が別れる時、とても地上に近い空に、赤と青に点滅する光を灯し、宇宙船の存在を見せ

てくれました。

彼等が、地球に来た理由は、地球人が宇宙人と対等に交流できるように、私達の意識を高めていく事です。そしてスターピープル達の事を恐れることなく、また依存することなく、良き友達としてお付き合いが出来るように、親近感を作りあげることです。

そう、その為に彼らは、私達が子供の頃にコンタクトを行い、出会えることで懐かしさを覚えるようにしているのかもしれませんが。

今回は「アミ小さな宇宙人」のブラッド星人からのメッセージで始めてみたいと思います。

「私達は、「アミ小さな宇宙人」の本にも書かれているように宇宙の愛をしっかりと伝えていきたいと思っています。

愛は、宇宙の基本法です。

宇宙は愛に基づいて動いています。

この宇宙の愛を地球の人達も身につけていただきたいと思います。

其のために、私達は遥か昔から地球に関わってきました。

「愛はすべての源」という事と「愛は時には破滅へと導く」という事をお伝えしてきました。

破滅にみちびく愛は、愛に変わりはないのですが、愛する物を守りたい、愛する家族を守りたいと思うがゆえに、破壊的な行動、閉鎖的な行動に出ることもあります。

もちろん愛しているがゆえに独占したいという気持ちも出てきます。

それは極めて閉鎖的で、狭い世界から見た愛です。

宇宙の愛というのは、もっと大きな愛です。

自分自身の意識を超えた、大きな愛を身に着けた時、この地球はすべてが変わるでしょう。

ただ残念な事に、この宇宙の愛を理解する為には、あらゆる経験を積むことでしか、理解する事が出来ないのです。

あらゆる立場を経験することで、いろんな角度からの愛をみて、宇宙の愛を掴み取るしかないのです。

ただ地球は、アセンションを間近に控えています。

この宇宙の愛をなんとなくでも、理解できた人から光の世界に向かっていくことが出来ます。

現時点では、光に向かっている方たちは少ないのですが、全くいないわけではないので、私達はこの方たちを引き続きサポートしていきたいと思います。

今はまだ少ない方達が、私達と交流していますが、これから光の世界ではもっと多くの人達と交流することになるでしょう。

そして宇宙の愛を理解する人が一定基準にまで達したときに、地球は初めて、国という制限を取っ払い、地球人として目覚めていきます。

地球に住む人は皆、「家族なんだ！」と思えるようになります。

そして地球の中に住む人々が自由に交流できるようになります。

もちろん、国同士の争いは起こりませんので、核も持たなくなります。

そして政治も経済もすべての分野で、地球規模で考えられるようになります。

今のように国を単位とした閉鎖的な運営の仕方ではなくなってきました。
もっと広い考え方を持つ人々が、地球規模で政治と経済を運営していく事になるでしょう。
それは、愛に基づいて、地球の人々が立ち上がるからこそ、出来上がることです。
私達は、地球の方々に、未だ教えていない事を教えることが出来る日が来る事を待っています。

地球人の愛の度数は、以前よりも上がっています
地球の人々は、2000年を境に、自分の国以外の国にも興味を向けるようになってきました。
地球人の意識は、少しずつでも確実に広がり、そして成長してきたといえるでしょう

やがて、地球の方々が、みんな一つになり、地球人だという意識が芽生えたときに、地球から飛び出していくことでしょう。
そして、今度は私達のように、これから成長を遂げようとしている星の人々を導く役目に回ってもらいます。

PART2 古代アトランティスや古代エジプト文明を支えたスターピープル

ブラドエル星人に続いてやってきたのは、白鳥座のアルビレオ星から来たアルビレオ星人です。
彼等も、ブラッド星人と同様に古代文明の時代から、地球人と深く関わってきました。
古代アトランティス文明、古代エジプト文明、古代マヤ、インカ文明などにも彼らの関わりは残されています。
彼等は、いつの時代にも、地球人が宇宙の中に生きるひとつの種族として目覚め、他の星の人々と交流を行って新しい時代を作りあげる事を願っているのです。
その為に、私達が越えなければならないことのひとつが核の放棄と地球の統一政府なのです。
彼等のメッセージもご紹介しましょう。

「私達は、地球の古代エジプトやマヤ文明を支えてきたスターピープルです。
TAKESHIさんが、ファラオとして生きていたエジプト時代や古代アトランティス時代にも交流がありました。
TAKESHIさんは、古代アトランティス時代には、海の中から私達の星と交信していました。
古代アトランティス時代にアルビレオ星の情報や技術を受けとりアトランティスを発展させてきたのです。
そのほかの時代にも、地球の進化のために、TAKESHIさんや神官の人達を通して交流を行ってきました。

今回は、地球の古代文明の時代に、私達が、皆さんにお渡ししたスピリチュアルコードを活性化しに来ました。
皆さんに与えていた遺伝子コードは、宇宙の意識を受け取るためのコードです。
このコードが活性化してくると、皆さんは宇宙の意識やマスター達からのメッセージを今迄よりもっと具体的にあるがままの状態を受け取るようになります。

今までは、宇宙の叡智や情報は、地球人が理解しやすいように、地球人が生きてきた環境にあった状態に変容されて伝えられてきました。
これからは地球人としてのフィルターを取り外し、宇宙の意識を直接的に受け取ることが出来ます。

そうすると、多くのスターピープル達と波長を合わせやすくなりますので、彼らの言葉をもっとダイレクトに受け取ることが出来ます。

これから10年以内に、エリさんのように、スターピープル達と心で交流する人達も増えてくるでしょう。」

アルビレオ星人の目的は、地球のアセンションが行われる過程で、人々の意識進化をサポートして皆さんが自然と調和した生き方を行う事を手助けすることです。

それは、私達が科学文明の低い状態に置かれるのではなく、大変高い科学技術力を持ったまま自然と調和する事を目指しています。

アルビレオ星人が、核と地球の未来について続けて語ります。

「地球の方たちは昔から私達と交流してきました。

今よりも昔の方が、私達と深くつながって、様々な文化や技術を分かち合っていました。

地球の方たちは、豊かな生活を手に入れれば入れるほど、物理的なものに執着し、自分達の第6感を失っていきました。

そしてどんどん自分達はちっぽけな存在であると思いはじめたのです。

宇宙とひとつになる事を忘れ、地球の中に閉じこもり、さらに国家、社会、家庭という、どんどん狭い世界を作りあげていきました。

そして、その狭い世界に捕らわれることで、いつしか地球の人々は、自分や家族の事しか見えなくなってしまうました。

そしてそのような状態から、地球人達は自分達の世界を守るために、あるいは他の世界を手に入れるために、全ての生物や全ての空間を破壊する核を生みだしてしまっただのです。

地球は、地球人自らの手によって破壊的な方向へと進んでしまいました。

地球は、核を求める人、核に頼る人がいる限り、危機的な状況から脱することが出来ないでしょう。

皆さんは、今のままの地球にとどまることで、核がいつまた暴れだすかわからない危機に、脅かされ続けています。

皆さんは、全てを飲み込む核に対して、本当の意味での恐怖心を抱き、こんな恐ろしいものはいらないと、心の底から思うまで、この核がある世界からは逃げ出せないでしょう。

しかし、核は人と全ての生命にとって危険だと分かった人達は、核がある世界から避難することが出来ます。核が不要だと思っている人達は、核がない世界へと移り変わってきます。

そして、核が無い自然な世界に移動し、宇宙にとって地球にとって、何がベストであるかという事を考えるような生き方が始まります。

これが、地球のアセンションの一つの側面です。

宇宙の愛を掴み取った人もアセンションします。

核の恐ろしさを知り、核がない世界の実現のために働いてきた人もアセンションします。

大昔に閉ざされた大きな世界への扉も、今、大きく開かれました。

これからは、皆さんの生き方次第では、善良で高い叡智を持った宇宙の存在達ともつながることが出来るでしょう。

私達は、古代から、皆さんをサポートし、その進化を見守ってきましたが、今生きている地球人の種族は、まだ十分な意識進化を果たしていない未熟なレベルですので、スターピープルとの交流も、正式な交流ではありませんでした。

その為に、私達はまだ、皆さんの前に姿を現して、正式な関わりを持つ事が出来ません。

しかし、一部の地球人達は様々な経験を積み、昔の人達が考えもつかなかった考え方が出来るようになりました。

ようやく、私達が求める意識の状態に近づいてきたとも言えるでしょう。

そして、これから行われるファースト・コンタクトやアセンションに関わる様々な出来事を体験することで、宇宙の方達と対等に交流ができるレベルへと成長していくのではないかと考えています。

これからは地球人も宇宙の中の叡智ある存在の一人として成長することで、あらゆる宇宙の存在達と交流をすることが出来るようになってくるでしょう。

これから、しばらくすると、地球人が宇宙デビューを果たす時が来ることでしょう。

私達をはじめ、多くのスターピープル達が長い間、この事を目指して働いてきました。

地球人が宇宙デビューを果たすことは、私達の夢でもあり、天の川銀河のみならず、この宇宙にとっては非常に重要な転換点でもあります。

その実現を、私達だけでなく、あらゆるスターピープル達も心から願っています。

深い闇を経験してきた地球人が、宇宙デビューを果たし、これからの宇宙をひっぱっていく教師の様な存在になることでしょう。

これから成長して行くいくつもの星々にとって、地球はなくてはならない星です。

特に闇の影響を受けた星々を助けることが出来るのは、地球の人々しかいないのです。

地球人が宇宙の一員として加わることで、宇宙は更なる成長を遂げていく事でしょう。」

私達の前で、自分達の思いをアルビレオ星人は熱く語ってくれました。

実は、私達とアルビレオ星人の出会いは、星のツアーを始めたばかりの2014年の7月にさかのぼります。最初の星のツアー「白鳥座の六芒星」の物語で、私達は白鳥座を訪ね、闇のエネルギーの攻撃によって崩壊したアルビレオ星を助けてあげたことがあるのです。

その時、地球の古代文明を作りあげてきたアルビレオ星の5人のマスターを眠りから目覚めさせることで、アルビレオ星はまた叡智ある素晴らしい星として復活しました。

彼等は、私達のその様な働きを知っているからこそ、多くの事を地球人に望んでいるようです。

しかし、それが地球人として果たさなければならない責務でもあります。

PART3 パラレルワールドの統合

私達は、アルビレオ星のスターピープルと会談した後に不思議な夢を見ました。

それは、自分自身が異なる世界で生きている夢です。

私は地球ではない別の星で生きている科学者でした。

ロケットのエンジンの様なものを研究している研究所です。

何重もの透明な壁に仕切られた部屋で、2人の仲間とエンジンの点火装置の様なものの実験をしていたのですが、突然火花が飛び散り、私達は感電死してしまいました。

何重もの透明な壁に仕切られていたところを見ると、とても危険な実験だったようです。

壁の外側で実験を見ていた人達が慌てています。

美樹さんの夢は、地球とは異なる星で、遊園地の様な場所で、プチ宇宙旅行が出来るという宇宙船のアトラクションに一人で乗っていた時に、宇宙船に事故が起こり、時空のはざまに捕えられ3日間行方が分からなくなりました。

其の3日間の間に、彼女はいくつもの異なる世界を巡っていたようですが、3日目に救出されたときは、今迄の世界に戻ってきたにもかかわらず、異なる自分の意識で戻ってきたそうです。

私達はこのことをアルビレオ星の人達と話してみました。

「TAKESHIさん、美樹さん、これは皆さんのアセンションを間近にして起こっている事です。

皆さんのスピリットは、いくつもの世界に存在しており、それがパラレルワールドとなっているのです。

地球に生きている別のあなたもいれば、地球ではない星に生きているあなたもいます。

アセンションが進んでいけば、皆さんは、自分のスピリットの本体が望むべき世界に行くことができます。

その時、あなたにとって不要な世界で生きている自分や、学びが終わった自分はスピリットの本体の中に吸収されていきます。

その時、異なる世界のあなたは、事故や災害でなくなるかもしれませんが、物質世界で生きていないあなたは、光としてあなたの中に吸い込まれていくかもしれません。

しかし、それはあなたのスピリットがより完全となり密度が高まる事ですので心配はいりません。

この地球に生きている人達は、アセンションする人も学びの世界に残る人も同じ事が起こっています。

それを夢で見たりする場合がありますが、多くの人はその事にさえも気づかないうちに、パラレルワールドに生きているいくつもの自分の統合が行われているのです。」

確かに、私達は今まで、同じ日本に生れていて、今とは異なる生き方をしていた自分を数回見たことがあります。

たとえば、その時の自分が生きている世界に大きな自然災害が起きて、自分自身が亡くなってしまった人生や今とは異なる仕事をしていて、うまくいかず病死してしまった人生などもありました。

しかしそのような人生を見たからといって別に悲しくなることもありませんでした。

私達は、すでにスピリットの統合を果たし始めていることに気づいていたからです。

アセンションを前に、その様なことが地球規模で行われてきたようです。

現在は、スターピープル達が、地球人の意識を高める為のプラズマエネルギーのようなものを地球の人々に放射しているようですので、人によっては、自分自身の意識が大きく変わり、様々なことに目覚めたり、不要な感情を放出したりする事も起こっています。

皆さんのスピリットレベルでは、アセンションを前に、パラレルワールドの自分自身が統合して一つになっていくという事が、盛んにおこなわれています。

私達の世界は、今ある地球が、いくつもの世界に分かれていきますが、これは地球レベルでの再編成という事ですので、私達も不要な自分を統合して新しくならなければなりません。

しかしその数時間後に自分達のエネルギーに不調が起き始めたことに気づき始めました。

このパラレルワールドの統合の過程で何か問題が生じているようです。

私達は、その原因を調べるために、スターピープル達と協力して、私達の体の異変がどのようにして起こっているかを調べてみました。

するといくつものパラレルワールドから、不要となった自分や学びが終わった自分が、スピリットの本体に統合されていかなければならないのですが、統合されるべきスピリットが、本体のスピリットの元に戻ってきていないのです。

統合される途中で、スピリットの一部が行方不明になっているようです。

これは、アセンションを迎える者にとっては致命的なことです。

なぜなら、スピリットは完全な状態でなければ、しっかりとアセンションはできません。

またその一部が闇にとらわれることにより、その一部を通して光のスピリットから常にエネルギーを奪われることになり、その通路を利用して、闇の存在が、光の世界に入りこんでくることも起こります。

私達はすぐに、捕えられたスピリットの一部を取り戻しにいかねばなりません。

ピカフラッシュを通して、スピリットの一部を探してもらおうと、やはりそこには、地球外生命体達と創造主が関わっているようです。

今、地球に残っている地球外生命体達は、もうすでに自分達の能力は大きく制限されているので、自力で大きな仕事ができる訳ではありませんので、自分達と波長が合うディセンションした世界の創造主達に取り入って、アセンションを妨害するような活動を行っているのです。

この時も、人々のパラレルワールドを統合するという創造主達の仕組みの中に、こっそり入りこんで、その回路の中に特別なゲートを作り、パラレルワールドの自分を統合する作業をしている人々のスピリットを、その中におびき寄せているようです。

沢山の人々のスピリットが、その回路からディセンションした世界へと引きずり込まれていっています。

私達はすぐに、そのゲートを閉じるとともに、スピリット達が捉えられている世界へと入って行きます。

様々な人のスピリットが、その空間の中に閉じ込められています。

私達は、スターピープル達の手によって、その世界に閉じ込められた人々を救出していくことになりました。これはアセンションのために、創造主達がつくりだしたシステムだったのですが、そこまで地球外生命体達が入り込んでいたとは驚きです。

第6章 アセンションの前に封印を解かれる創造主

PART1 人々の心と体、そしてスピリットを統合するための創造主

私達は、人々のスピリットが閉じ込められていた空間から、さらにエネルギーを辿って調べていくと、次元の低い世界に大変な創造主を見つけました。

その創造主は闇の中に長い間閉じ込められていたようです。

私達が、闇の中から救い出して調べると、やはり体にネガティブ・コードがつけられていました。

どうやら、彼はネガティブ・コードをつけられて、パラレルワールドに存在していた自分が統合されることを邪魔して、人々のスピリットを闇の世界に導く手伝いをさせられていたようです。

私達は、地上にかなり近いところに存在しているところから、高次の創造主ではなく物理世界の創造主ではないかと思いましたので、創造主エンソフにこの創造主の事について尋ねてみましたが、エンソフは記憶がないようです。

其れも不思議な感じがしますが、相当長い間封印されていた可能性もあります。

ロッド星人が彼につけられていたネガティブ・コードを外すと、この創造主はすこしずつ自分の事を思い出し始めました。

彼は自分ことを、「人々の心と体、スピリットを統合する創造主」とであると語りました。

私達は、この創造主の名前を聴くことで、この事件の真相が見えたような気がしました。

この「人々の心と体、スピリットを統合する創造主」は、人のスピリットがいくつもの部分に分かれて、パラレルワールドに存在した後、戻ってくる時期になると、分離されたスピリットを本体であるスピリットや肉体に統合する働きをしていたようです。

しかし、ネガティブ・コードを入れられて、自分の意識を失い、他の存在から操られることで、パラレルワールドのスピリットを統合するという働きを行う事が出来ず、人々のスピリットが闇の世界に流れるままになっていたようです。

創造主が目覚めたようです。

自分が行っていた事を知ってかなり焦っています。

「私は、本当に長い間、閉じ込められ眠っていたようです。

私は元々、この天の川銀河に生きる人々の心と体、そしてスピリットを調整し統合するための仕事をしていました。

一人の人が、肉体でも心でもスピリットでも完全なつながりを持って生きる事で、自分の事を全て知り一つに統合されて生きることが出来るのです。

しかし、いま世界を見渡してみると、地球の人々は、肉体と心、そしてスピリットが分離されていてバラバラです。

肉体は心の事が分からず、心はスピリットの事が理解できていません。

このままでは、人々の分離感が高まり、宇宙との一体感を感じ取ることが出来ないでしょう。」

もし彼がいう事が本当ならば、大変なことです。

私達人類は、肉体を持って生きていますが、私達のスピリットは肉体にはいる事はできず魂によってつなぎとめられています。

肉体と肉体の意識は、スピリットが持つ叡智や能力、記憶などを知ることが出来ませんので、自分自身が一体誰なのか、自分は何のために地球に生れ、何をしようとしているのかわからないのです。

また肉体の意識とスピリットが分離されているために、自分が生きる目的が分からず、様々な感情のストレスを持ったり精神疾患を患ったりもします。

更に言うならば、このために自分が意図しない地球外生命体達によって自分の体や意識をのっとられてしまう事も起こるのです。

もし彼が復活して、彼が本来の仕事を行う事が出来たなら、今の地球人が陥っている多くのジレンマが一気に解決する事になるかもしれません。

人々は、自分のスピリットの目的や使命を知り、自分達の心をしっかりとコントロールできるようになれば、地球人の意識進化が一気に進むのではないのでしょうか。

そして自分の肉体と心、そしてスピリットが分裂していることによっておこる様々な精神病や精神障害も治っていくかもしれません。

あるいは、人々が心の中に隠している失望感や絶望感、怒り、不満、根深い悲しみや苦しみなども解決されていくのではないのでしょうか。

私はエレナさん達に、この創造主を目覚めさせた事で、地球のアセンションの状況は大きく変わるかもしれないといいます。

「TAKESHI さん、もちろんそうかもしれません。

この前、狂気に陥った創造主が正常な創造主が変わることによって人々の感情は、以前よりもはるかに良い状態になり、落ちつきを取り戻しました。

そして彼が行っていた問題が明るみになることにより、閉じ込められていたスターピープル達も救出され、私達は、アセンションに向けて一気に進むことが出来ました。

この創造主の役割は、狂気の創造主だった「全ての意識を成長させる創造主」よりも、地球の人類にとっては重要な役割です。

本当にこの創造主のいう事が正しければ、TAKESHI さんが考えていることも起こるでしょう。

しかし、私達はその前に、この創造主の事についてもっと詳しく調べてみないといけません。

もしかしたら、大変な危険性があるかもしれません。」

私は、この創造主が目覚めることによって起こる危険性の事については何も考えていませんでしたからエレナさんからそういわれて驚きました。

ロッド星人もなにか考えがあるような表情で言います。

「実は私も、エレナさんと同じように、簡単にいかない何かがあるように思います。

最初は、地球人達の肉体と意識、スピリットを分断することで、人間の精神状態をアンバランスにして、地球外生命体が入り込むような状況を作ったのかなと、考えたのですがそれだけではないようです。

それに、今、この創造主が大きく動いて、突然肉体と心、そしてスピリットが統合されたら、まだ準備が出

来ていない人は驚いてパニックになってしまおうでしょう。

スピリットが人間の意識につながることによって、今まで見えていなかった世界や存在が急に見えるようになったり、知らない世界の言語や知識が心の中に流れ込んで来たら、ほとんどの人は気が狂うかその情報量の膨大さに耐えきれず病気になったり死んでしまう可能性もあるでしょう。

ここは慎重に行動しなければなりません。

きっと、なにか大きな計画があるはずですよ。」

私も、自分だけの考えで行動しようとしていたことを恥ずかしく思いました。

その様子を見た創造主エンソフが口を開きました。

「TAKESHI さん、実はこの創造主に関する記憶が、今迄は私達から消されていたようです。

この創造主が目覚めて、本来の創造主に戻ってきたことで、私達はこの創造主の事を少しは思い出したのですが、この創造主が行ってきたことや本当の能力に関しては、未だぼんやりとして思い出せません。

何か大きな封印が、彼と私達にかけられているようです。」

PART2 創造主にかけられた封印

確かに、この創造主の体を調べてみると、いくつかの封印がかけられているようです。

私達は、この創造主の役割があまりにも大きいために、どのような存在が、どのような目的を持って彼に封印をかけたのかを調べることにしました。

「記憶の創造主」に彼の事が記憶に残っていないか調べてもらいました。

すると不思議なことに「記録の創造主」の言葉が急に聞こえなくなりました。

誰かが「記録の創造主」にこの創造主の事を、人に話すことを禁じたようです。

私は、「光彩の創造主」にお願いして、この創造主の封印をといてもらう事にしましたが、「光彩の創造主」ではその封印をとくことが出来ません。

「神聖なる光の創造主」にもお願いしましたが、彼女の力でも解くことが出来ません。

そうすると、彼ら以上の創造主が、この創造主に封印をかけたことになります。

これは間違いなく高次の創造主達の計画のようです。

私は、「神聖なる光の創造主」の上に属する「全ての創造主に試練を与える創造主」にこの創造主の事についてきてみましたが、「記録の創造主」と同じように、口をパクパクと動かすだけです。

これでは、この創造主に対して謎が深くなるばかりです。

私は、この創造主に封印をかけた創造主に出てきてくれるようお願いしました。

すると神々しい創造主があらわれます。

彼は自分の事を「物理世界やスピリチュアルな世界のバランスをとる創造主」と語りました。

そして創造主達を生みだし創造主のバランスをとる創造主であるとも言いました。

「TAKESHI さん、あなた方にお会いできたことを心よりうれしく思います。

「光彩の創造主」の一部として地球上でしっかりと働いている姿を見て、私達も大変うれしく思っています。」

私達も、いつか、あなた方がこの創造主を見つけ、この創造主の秘密を解き明かす時が来るのではないかと
思っていました。

私達も、この創造主に関しては、アセンションの前に見つけてもらう予定でございました。

もし、アセンションが終わってしまったなら、この創造主は、光の世界から切り離された学びの世界の闇の
中に閉ざされ、見つけだすことが出来なかったことでしょう。

確かにこの創造主は、あなたが考えるように、地球の人々の心と体、そしてスピリットを統合する役目を与
えられた創造主です。

しかし、彼を完全に復活させて、人々の心と体、そしてスピリットの統合をおこなえばロッド星人が言うよ
うに、地球の人々の意識に大きな負担を与え、人々は通常の生活を送ることが不可能になります。

中には、何が起きたのかと心配して病気になってしまう人もいるでしょう。

この創造主が、本来の活躍を始めるのは、アセンション後となります。

そこでは、人々の心と体、そしてスピリットの統合を行う準備が出来た人が増えますので、彼の力は、いか
んなく発揮できると思いますが、まだ準備が出来ていない人に関しては、危険なのです。

そしてこの創造主には更に大きな役目があるのですが、それはまだお話しすることはできません。

でもひとつだけ言うておきましょう。

彼の力を奪い、闇の世界に封印したのは、はるか以前、地球が荒れ狂う戦争によってその理性を失っていた
時のことです。

彼が封印されることで、地球の人々の多くのスピリットが助け出されたのです。」

私は創造主の言葉に、何と返事したら良いかわからず、ただ立っています。

「この創造主の力が抑えられることで、人々の肉体と心、スピリットのきずなが緩くなりました。

その当時の地球はすべての地域で戦争や争いが起こっていましたが、人々の肉体と心は、その戦争の闇に
どんどん飲み込まれていきました。

もし、この創造主がしっかりと仕事をしていたら、肉体と心とスピリットは固いきずなで結ばれていた為、
人々のスピリットは、自由に体から離れることはできませんでした。

しかし、この創造主を封印したおかげで、スピリットと肉体のきずなは壊れ、私達は、多くの人々のスピ
リットを肉体から切り離し、闇に飲み込まれる前に、助け出すことが出来たのです。

そうしなければ、何千、何万という人々のスピリットが、戦争という闇のエネルギーに取り込まれ、その光
を奪われるところでした。

彼の力が失われたおかげで、多くの人々のスピリットが、闇の世界から救い出されたのです。」

私は、その話を聴いて、この地球に起こった戦争とその戦争によって命をなくした人々、そしてスピリット
の事を考えさせられました。

地球はあまりにも闇が深く、創造主達が肉体とスピリットを分離することで、たとえ肉体は過酷な死を迎え
てもスピリットだけは守られていたことを知りました。

この創造主には、他にも仲間が4人いるそうですが、彼らはアセンションを終えて、「人々の心と体、スピ
リットを統合する創造主」が完全に復活したときに、再び現れ、彼と共に地球の人々を統合する仕事を行う

ようです。

地球人は、その統合を行うことで、自分の肉体とスピリットを自由に使うことが出来るようになり、肉体を持たないスターピープル達とも自由にコミュニケーションを取り行動できるようになります。

これが、地球人が宇宙デビューするために必要な条件かもしれませんね。

「人々の心と体、スピリットを統合する創造主」は、それまで自分に許された力の範囲で、光の世界に行く人々が、完全とは言わないまでも、少しずつ肉体と心とスピリットが統合されていくことをサポートとしていくようです。

それだけでも、私達にとって、ありがたいことです。

PART3 目覚める高次元の創造主

「人々の心と体、スピリットを統合する創造主」を目覚めさせた翌日の事、私達の頭がとても重くなり、意識が遠ざかりそうになった時がありました。

私達はまた、人々の感情を使って地球外生命体が、私達に攻撃を仕掛けてきたのかと思い、ピカフラッシュを走らせてそのエネルギーの元をたどります。

すると、そこにいたのは、闇の中に封印された創造主です。

其れもとても強い創造主ですが、何か理由がありそうです。

私も、また上位の創造主によって計画された理由がありそうですので、創造主にこの件について尋ねることにしました。

「神聖なる光の創造主」にまず来ていただいてこの件をお伺いすると、この創造主の事は良く知っているようでした。

「TAKESHI さん、この封印されている創造主は、自分と同じラインの創造主で、共に宇宙の創造に関わってきた創造主です。

これは、さらに上位の創造主様をご計画されたことですので、ぜひ「全ての創造主に試練を与える創造主」様にご意見を伺いたいと思います。」

するとそこに「全ての光りを生み出す創造主」があらわれました。

彼は、創造主に試練を与えて鍛える創造主でもあるので一筋縄ではいきません。

何か計画を持っているにちがいありません。

「偉大なる「全ての創造主に試練を与える創造主」よ、ここに闇に封印された創造主がいらっしゃいますが、おそらくこれもあなたの計画だと思いますが、封印を解き目覚めさせてもよろしいのでしょうか。」

「TAKESHI さん、そんなに私を怖いもののように見ないでください。

これも皆さんを創造主として鍛えなければ、ならない為です。」と笑いながら答えます。

「この創造主は、私達が地球のアセンションを迎えるまで、その働きを封印しました。

なぜなら、この創造主と共に数名の創造主を封印してあるのですが、彼等がしっかりと仕事をしてい

ば、宇宙は光に満ち、光の創造主達は、何一つ不自由することなく、宇宙の創造と運営ができます。すると、創造主達の成長は起こらなくなるのです。

彼等を封印して、あえて光と闇のバランスを壊して、闇の多い世界をつくることで、創造主達は多くのトラブルを経験し成長していくのです。

しかし、その時期ももう終わりを迎えようとしています。

皆さんが、彼を発見した事で、彼らの封印は解け、光の創造主達と共に、栄光の時代を作りあげることが出来るでしょう。」

本当にこの創造主はいう事がダイナミックですので、私も困ります。

お願いだから、そんな苦勞をさせないでください、という感じです。

「この創造主達は、アセンションが確実となった今、再び光の世界に戻ってきます。

今迄、幾たびとなく様々な創造主が、地球と宇宙のアセンションに取り組んできましたが、いずれも途中で失敗してしまいました。

その為に、彼らは、ずっと闇が深い世界に隠されていたのです。

しかし、今回皆さんが無事、アセンションを成し遂げる見込みが出来ましたので、彼等は、新たな光の宇宙を創るための活動に入ります。

どうか、彼らを目覚めさせてください。」

今回は、素直に創造主達を目覚めさせることができるようです。

「分かりました、それでは「神聖なる光の創造主」よ、「光彩の創造主」よ、ここに光を送り、この創造主を目覚めさせてください。」

この創造主を美しい光が包みます。

目覚めた創造主の体からも美しい光が広がっていきます。

「私は、「神聖なる愛の創造主」です。

私が封印される前は、「神聖なる光の創造主」達と共に、美しい愛に満ちた世界を創っておりましたが、高次の創造主様が、新たな創造主を生みだし育てる為という理由で、私達の働きを封じられておりました。

私が、再び目覚めたという事は、創造主にとっても学びの時代が終わったという事でしょうか。」

「神聖なる愛の創造」は、「全ての創造主に試練を与える創造主」に向かって聞いているようです。

「全ての創造主に試練を与える創造主」は、「神聖なる愛の創造主」に向かって言います。

「そうです。皆さんが目覚め、新たな宇宙を創るときが、やってきました。

地球と宇宙は、大きな試練の時をくぐり抜け見事に成長してきました。

光の創造主達も、闇の時代をくぐり抜け、新たな創造主のリーダーを生みだしました。

もうすぐ、地球と宇宙は新たな時代に入ります。

その為の準備をしてください。」

「神聖なる愛の創造主」は、嬉しそうに私達に感謝の言葉を言って消えていきました。

私は、「全ての創造主に試練を与える創造主」に向かって聞きました。

「この創造主のほかにも、目覚めていない創造主がいらっしゃるようですが、どこにいらっしゃいますか。」

「全ての創造主に試練を与える創造主」は、私達を連れて、さっきとは異なる闇の世界に入って行きました。

そして、「神聖なる希望の創造主」と「神聖なる歓喜の創造主」を、目覚めさせてくださいました。

これで「神聖なる光の創造主」のラインにいる4人の創造主が目覚めたこととなります。

「神聖なる光の創造主」のほかに、「神聖なる愛の創造主」と「神聖なる希望の創造主」と「神聖なる歓喜の創造主」が目覚め、4人の創造主達によって、光の創造主達に光が送られ、この宇宙にも光が満ち溢れることとなるのです。

それは地球のアセンションに向けて、大きな飛躍の光となる事でしょう。

第7章 白猫のビブラット星人アルテミス

PART1 ビブラット星のアルテミス

8月4日の事、仕事が終わって自宅まで歩いている時、空地にとっても美しい真っ白な猫を発見しました。それは地球の猫とは思えないくらい美しく、頭が小さな猫です。まるで古代エジプトの猫のように、すらっとした細い体には気品が漂い、優雅なしぐさで私を見えています。私もその美しさに見とれてしばらく猫と見つめ合っていました。白い猫は、私の心に何かを伝えてくれたようです。

その夜、私の体にとっても大きな異変がおきました。身体の内側からとても大きなエネルギーが動き始めています。体も熱く振動していますし、自分のスピリットの一部が大きく変化していくようです。私の体のオーラをみている美樹さんもそのエネルギーの変化に驚いています。私は、身体の周りにラピスラズリーの原石とブラック・シトリンを並べて、私のエネルギーの急激な変化をサポートさせます。

その変化は一晩中続いた様です。私は、先日現れたブラッド星人か白鳥座のアルビレオ星人の仕業かなとおもっていたのですが、それはこの白い猫さんの行った事でした。

その翌日の夜、私達の前に白い猫の姿をしたスターピープルがやってきました。彼女は自分の名前をアルテミスと語り、アルクツールス星系のビブラッド星からやってきたスターピープルであると言いました。そして、このビブラッド星は、私がかつて住んでいた星で、彼女は私の教師役として錬金術や私が賢者になるための宇宙の叡智や魔法などを教えてくれた人でした。アルテミスは、最初に私がビブラッド星で行ってきたことを教えてくれました。

「TAKESHIさんは、ビブラッド星を運営している6人兄弟の一人として、星に生きるスピリチュアルな人々と叡智と繁栄を分かち合って生きていました。ビブラッド星は、神話的な星で、フェアリーやユニコーンの様な幻想的な生命達も存在していますし、植物も動物も同じ星の生命体として平等に扱われていました。人々は、動物達ともテレパシーで会話し、彼らを尊重しています。私は、ビブラッド星の精霊であり、星に生きる人々を育てる惑星意識でもあります。私は、皆さんたちを正しい道に導くために、共に協力して生きてきました。

今でもビブラッド星は存在しており、皆さんの子孫たちが活躍しています。ビブラッド星は、アルクツールス星系の中でもアセンションを果たした平和な星のひとつです。私達が関わる人々も、平和を求めている人達ばかりです。そして、この宇宙の中で私達を必要としてくれる人々のサポートを共に行っています。

TAKESHI さんのスピリットはすでにビブラッド星でアセンションを経験しています。

私はこの時の記憶を思い出させるために、猫の姿であなたの前に現れました。

あなたがビブラッド星で、愛にあふれた者達と過ごした時を、どうか思い出してください。

地球のアセンションを前に、様々な不安が起きたとしても、あせる必要も心配する必要もありません。

あなたが、ビブラッド星に生れアセンションを体験した記憶が、あなたを助けてくれます。

私は、あなたが、ビブラッド星で行ってきた事をしっかりと思いだせるように、この時代に培った遺伝子を活性化します。

地球がアセンションした時に、ビブラッド星の記憶を思い出す事で、アセンション後の世界を作りあげる助けとなるからです。

そして、この地球に古い時代から生きている植物や動物達ともうまくコミュニケーションを行う事も思い出して下さるでしょう。

これから、皆さんが作る光の地球では、アセンションしたビブラッド星が良いモデルとなるでしょう。

あなたは、地球のアセンションを前に、他の星でのアセンションを体験して、地球のアセンションのための準備をしていたのです。

TAKESHI さんは 150 年間、ビブラッド星で生きてきました。

この星を去る時は、皆さんは哀しんでいましたが、これからの役目があると分かっていたので、喜んで見送ってくれました。

そして TAKESHI さんが地球のアセンションに関わっている事を知って、喜びと共に祈っています。」

ビブラッド星のアルテミスによって、私の思いがけない過去の事が明らかになってきました。

確かに、地球のアセンションという大きな仕事に直面しても、内側から起こってくる声に基づいて仕事をしている自分を見るならば、アルテミスの言うことも決して間違えていない気がします。

PART2 宇宙の愛に目覚める事

続いてアルテミスが、ビブラッド星の人達がどのように地球に関わってきたかを教えてくれました。

これは、私達がアセンションを迎えるために、とても大切なメッセージです。

「ビブラッド星のスターピープルは、地球のアセンションのために、古い時代から働いてきました。

私達は、地球人に高い次元から、アイデアやひらめきを与えてきたのです。

地球人の意識進化のために、私達が与えたアイデアは非常に役に立っていましたが、地球人は、それを自分達のアイデアだと思っていました。

私達は、皆さんに、主に哲学、宇宙意識、宇宙から見た平和などを教えています。

私達が過去に教えた科学技術が、地球人に教えた後に、破壊的な方向に使われてしまったので、科学技術を教えることは、現在は控えております。

行き過ぎた科学力は、未成熟な地球人が使用すると暴走をおこし、人々を幸福にする事はありません。

過去に、スターピープルが教えた技術が戦争に利用された事がありましたので、スターピープル達は、科学技術を教える事には慎重になりました。

私達は、地球人が精神的に成長する前に、進んだ科学技術を教えても、決して私達が望んだような使い方をしないという事が分かりましたので、私達は技術よりも宇宙哲学を伝えてきたのです。

「アミ小さな宇宙人」達も、私達と同じように考え、子供達に対してその様な指導を丁寧に行っています。

私達が住むアルクツールス星系でも、科学技術が進んだ星ほど、心がともなわず、欲望に走ってディセンションした星が多かったのです。

私達の星も、古い時代にこのような事を経験したために、科学技術ではなく心の在り方を学んできました。

私達が、皆さんと本格的に関わるのは、アセンション後もしばらくしてからです。

地球人の意識進化が進み、皆さんが半物質的な存在となってからでしょう。

私達から、皆さんの意識進化を早めるために、お願いがあります。

それは、動物を人間と同じ生命として尊重していく意識を育ててください。

動物を、自分達の奴隷として扱うのではなく、友人として大切に扱ってください。

そして自分だけの事を考えるのではなく、自分以外の人の事も深く理解できるようにしてください。

皆さんは、これからスターピープルとしての愛に目覚めなければなりません。

宇宙の意識を学び、完全な愛の状態になって、初めて私達の姿を見ることが出来るでしょう。

またそのような意識状態にならないと、私達の星の事も、私達の考えも理解できません。

そこに行き着くまでに、地球ではおよそ 300 年から 500 年の時間が必要でしょうが、私達は皆さんと交流できる日が来ることを待っています。

そしてもう一つ大切なことは、地球に住む人達が一つの家族である事を理解出来なければなりません。

そのためには、地球の争いの元となっている宗教をもう一度見直さなければならぬと思います。

スターピープル達は、自分達の叡智を特定の人々に伝えたのですが、彼等が去った後に、その叡智は地球人にとって都合が良いように解釈されて、人々の支配のための道具にされてしまいました。

スターピープルは、本来宗教のような形として、地球の人々を抑圧するようなことは望んでいませんでした。

地球人は、これからスターピープルと共に活動する為には、新たな「宇宙の愛」というものを自ら見つけていかななくてはなりません。

これは言葉で教えられるものではなく、地球の人達が様々な経験を通して自ら学びとるしかありません。

皆さんは、地球の固定概念を捨てて、地球の人達の根底にある様々な形の依存心を捨ててください。

地球人は、自分達よりも優れた人々やスターピープルに対する依存心を捨てなければなりません。

依存心を捨て、自分達の中にも十分な光が備わっていることを理解し自信を持つ事が必要です。

この宇宙でも、これだけ深い闇を乗り越えた経験は地球人以外にはありません。

そのことに対して、皆さんは自信と誇りをもって、他の星々の人にこの事を教えなくてはなりません。

そのために、地球に残っている闇を全て片づけ、自分自身が完全な光にならなくてはならないのです。

私達の星であるビブラッド星は、たとえて言うならば、地球の農村のような世界に見えると思います。皆さんの地球よりは、はるかに科学も全ての技術も進んでいますが、私達はこの星を美しい自然のままに残しています。

私達は、そこで自分達の心を鍛えながら、人生を楽しんで生きています。

私達の星では、フェアリー達とも協力しながら、野菜や植物を作り、そのエネルギーを食事として利用しています。

ビブラッド星の人々は、通常はスピリチュアルな存在として生きており、物質的な体を持ちませんので、自分の星の中ではスピリチュアルなエネルギー体としてのみ存在しています。

しかし、他の星の人々と交流するときは、相手の次元が自分達よりも低いときは半物質的な体になります。

地球人は、まだ半物質の体にさえも至っておらず、物理的な体しか持っていませんので、私達は、物理的な体に姿を変えて地球に現れることを行いました。

地球は、私達と交流する為には、宇宙意識の愛に目覚めて半物質（スピリチュアル）の体を手に入れられないといけません。

PART3 アセンションのために植物や動物の意識を尊重する事

現在の地球では、アセンションの事を勘違いしている人が多いようです。

地球人は、アセンションを、自分以外の優れた存在についていけば達成できる。

お金を出して何かをすれば、自分はアセンションできると思っていますが、そういう事はありません。

植物を見たり風を感じたりすることで、植物や風を尊重し、その意識から学ぶ事によって、自己中心的な考え方を改めていく事も出来ます。

特に自然界に生きている存在は、高次元の存在と深く関わっているので、植物達の意識を感じる事で、私達とも交流することが出来ます。

植物はとても古い時代から、地球に生きてきました。

植物を物として見ているうちは、皆さんの意識状態は決して高くありませんので、皆さんはアセンションとは遠いところにいます。

私達が、植物や樹木を通して地球の様子を見た時に思う事は、皆さんが大きくて古い樹木などに触れた時、皆さんは感動してくださるのですが、その大きくて偉大なエネルギーにあやかろう、そのエネルギーをいただくとしか考えていない事がとても残念です。

皆さんは、巨大な樹木に出会った時も、樹木に敬意をはらい樹木と共に地球を癒そうとは考えません。

地球人が、樹木と共に、地球に愛を送り癒しを行う事を行うようになると、皆さんも地球も大きく変わっていきます。

昔から、その様な事を行ってきた地球のシャーマン達は、政府から弾圧され隔離されてしまって一般の人達と触れ合うことが出来なくなってしまいました。

その為に人々は、大きな樹木や自然に対して、地球の平和を願うのではなく、自分の欲望を満たす為に、自分や自分の家族の健康や利益、人生の幸福だけを願っているのです。

私は多くの植物から、嘆きと共にそのことを良く聴いています。

その様な人間達の姿を見て、植物たちも大変悲しんでいるのです。

長年生きてきた樹木たちは皆同じことを言います

「地球に生きてきた人達は、どうして長い間生きてきた自分達に何も聞かないのだろう。」

長年生きてきた樹木たちの多くは、地球のさまざまな歴史を見てきた賢者です。

多くの知識や知恵をもって、地球と共に生きています。

長く生きてきた古い樹木が目の前にあるのに、どうしてその賢者を教師としないのか、私達は不思議です。皆さんは、古い樹木が、高い叡智を持っているなどとは思わずに、その大きな存在にただ感動して終わってしまいます。

この地球を良くする方法は、この地球を長く生きてきたもの達がよく知っているのです。

アセンションを夢見ている人は、今地球にとって一番大切な存在達を無視して、「遠い幻」のようなものを追いかけているのが現状です。

「遠い幻」とは、まだ今は交流をすることが出来ないスターピープル達に救いを求めたり、自分が自分以上の存在になろうとして他の存在に頼ったりすることです。

あるいはもっと早く力を得たり、意識進化をおこなおうと思い、闇の存在達の力を借りることです。

アセンションを求めている人達が行わなければならない事は、いろいろとあります。

そのひとつは、まず植物と心を交わし対話をすることです。

どうか、植物や動物たちの心や言葉を理解してください。

彼らは、自分達を理解してほしいと訴えかけています。

ほとんどの動物達は「純粋な愛の状態」にいますので、そのまま光の世界に行くものが多いようです。今作られている光の世界には、純粋な意識に満ちた動物や昆虫、植物などがたくさん行くことでしょう。今までこの地上で虐げられていた者達が中心となるのが、これからの光の世界です。

皆さんが、そのような世界に移り住むようになると、私達の星にも近づくことが出来ます。

私達は、自然があふれる星に住み、人々の生活は、とても豊かで自然と調和しています。

しかし、私達は、他のスターピープルと交流出来るように科学技術も残しています。

自分達は、宇宙間の移動は主に意識で行いますが、半物質の生命体や生長途上にある星をサポートするときには宇宙船で動き、その星の中でも、私達が身軽に動ける姿になる事があります。

私達は、地球がより完全なアセンションを行い、皆さんの意識が高まり、私達と交流出来る日が早く来ることを心から望んでおります。

その為に、私達はできる限りの手を皆さんに差し伸べております。

PART4 人々の美しさについて

今から、地球の人達が、一番聴きたいことについて話します。

それは、人々の美しさについてです。

地球の方を見ていると、美しくなるために自分の外側ばかりを見ているような気がします。

たとえば、ここに行けば美しくなれる、このようなものを使えば美しくなれるといった感じで、自分の内側にあるものとは、まったく無関係なものばかりを求めています。

美しくなるという事は、実はそのようなことではないのです。

美しくなるために、一番必要なことは、先ほども述べましたが、植物や動物が訴えかけていることを聞き入れ、行動に移す事にその秘訣があります。

そうすることで、その言葉を聴きいれてくれた植物や動物たちが、皆さんに感謝の念を送り、その思いが、その人の美しさに変わるのです。

そして外見が驚くほど変わってきます。

本当の意味で外見を美しくする方法は、地球と一体となる事です、これは必要不可欠です。

植物や動物たちを通して、地球の現状を知り、この地球を良くするために行動したとき、地球の環境も良くなっていきますので、健康的な食べ物を口にすることが出来ます。

たとえば、土が浄化され健康になると、その土から生まれる野菜には、たくさんの豊富な栄養素が含まれていますので、それを食することで、自然と美しくなっていきます。

全ては、皆さんの周りにあるのです。

皆さん、そこを勘違いされているように思います。

簡単に言いますと、自己中心的な生き方を止めることで、自然に外見が美しくなります。

周りを見て、何が必要かを考えることで、周りから必要なことが生まれ与えられてきます。

スターピープル達が美しいのは、そのためです。

どうかこのことを皆さん理解してください。

この事はどの世界においてもあてはまる事です。